

2025年度

履修案内

履修等に関する注意事項

授業科目一覧

東京大学大学院総合文化研究科

2025年度総合文化研究科学事（各種手続等）日程

月	日	事項
4	1 (火) 1 (火) 7 (月) 7 (月) 7 (月) 11 (金)	学生証交付及び履修案内配付期間【～4/4(金)】 入・進学者ガイダンス期間（各専攻別）【～4/4(金)】 Sセメスター授業開始【～7/1 6(水)】 S1ターム授業開始【～5/3 0(金)】 履修科目登録手続期間（Sセメスター・S1ターム・S2ターム・通年）【～5/7(水)】 (事前に指導教員の承認を得ること) 東京大学入学式
5	30 (金)	S1ターム授業終了
6	4 (水) 13 (金) 13 (金) 16 (月) 30 (月)	S2ターム授業開始【～7/2 4(木)】 博士課程進学希望者出願期間（2025年10月進学希望者（広域））【～6/1 9(木)】 修士論文題目届提出期間（2025年度秋季修了予定者（広域））【～6/1 9(木)】 大学院外国人研究生・大学院研究生在学期間延長願及び退学願提出期間【～7/1 5(火)】 (2025年9月在学期間満了者) 修士論文提出期間（2025年度秋季修了予定者（広域））【～7/2(水)】
7	16 (水) 24 (木)	Sセメスター授業終了 S2ターム授業終了
8	4 (月)	夏季休業開始【～9/3 0(火)】
9	19 (金)	秋季学位記授与式
10	1 (水) 2 (木) 2 (木) 2 (木) 10 (金) 29 (水)	秋季入学式 Aセメスター授業開始【～1/1 9(月)】 A1ターム授業開始【～1/1 2 6(水)】 履修科目登録手続期間（Aセメスター・A1ターム・A2ターム）【～1/0 2 0(月)】 (事前に指導教員の承認を得ること) 博士論文題目届提出期間（2026年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～1/0 1 7(金)】 修士論文題目届提出期間（2026年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～1/1 5(水)】
11	7 (金) 18 (火) 26 (水) 28 (金)	博士論文題目届提出期間（2026年3月修了予定者（広域））【～1/1 1 3(木)】 博士論文提出期間（2026年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～1/1 2 8(金)】 A1ターム授業終了 A2ターム授業開始【～1/2 9(木)】
12	1 (月) 1 (月) 3 (水) 3 (水) 27 (土)	博士論文提出期間（2026年3月修了予定者（広域））【～1/2 8(月)】 修士論文題目届提出期間（2026年3月修了予定者（広域））【～1/2 8(月)】 修士論文提出期間（2026年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～1/2 1 0(水)】 博士課程進学希望者出願期間（2026年4月進学希望者（言語・超域・地域・国際・広域））【～1/2 1 1(木)】 冬季休業開始【～1/4(日)】
1	7 (水) 19 (月) 22 (木) 29 (木)	修士論文提出期間（2026年3月修了予定者（広域））【～1/1 5(木)】 Aセメスター授業終了 修士修了及び博士進学口述試験日程発表 ※正午にUTASに掲示 A2ターム授業終了
2	2 (月) 2 (月) 8 (日) 27 (金)	在学期間延長届及び退学願提出期間（2026年3月標準修業年限満了者）【～2/2 7(金)】 大学院外国人研究生・大学院研究生在学期間延長願及び退学願提出期間【～2/2 7(金)】 (2026年3月在学期間満了者) 春季休業開始【～3/3 1(火)】 大学院研究生出願期間【～3/3(火)】
3	6 (金) 9 (月) 24 (火)	2026年3月24日付け修了者発表 ※正午にUTASに掲示 入・進学手続期間【～3/1 0(火)】 春季学位記授与式

※1) 上記日程表においては、専攻名を次のように略して表記している。

〔言語情報科学=言語、超域文化科学=超域、地域文化研究=地域、国際社会科学=国際、広域科学=広域〕

2) 専攻により日程が異なる場合があるので、注意すること。

3) 修士課程又は博士課程の区別がないものは、両課程の共通事項である（研究生には該当しない）。

4) 上記日程に変更がある場合は、その都度掲示により周知する。

2025 年度履修案内_正誤表

20 ページ 11 行目 (誤) 3 月 2 3 日 (正) 3 月 2 4 日

20 ページ 35 行目 (誤) 3 月 2 3 日 (正) 3 月 2 4 日

目 次

○ 学事（各種手続等）日程

1. 授業等日程	2
2. 履修・学籍関係等に関する注意事項（概要）	4
3. 履修に関する手続	6
4. 休学等の手続	1 1
5. (1) 海外渡航をする場合の手続 (2) 外国の大学院が行う通信教育における 授業科目を日本国内で履修し単位を修 得した場合	1 3
6. 修士学位論文提出要領	1 5
7. 博士学位論文提出要領（課程博士用）	2 0
8. 学問と知の倫理について	2 4
9. 授業科目一覧	2 5

2025年度 総合文化研究科 授業等日程

◆ 4月～8月 授業等日程

●授業期間		
	4月7日(月)	～ 7月16日(水)
●授業休止日		
	5月23日(金)	午後：五月祭準備のため
●祝休日等利用日		
	6月7日(土)	全日：S1ターム定期試験予備
●その他		
	4月11日(金)	全日：東京大学春季入学式

[セメスター科目]

◎授業日 (Sヤメスター)

※6/2, 6/3はヤメスター科目的授業はない

○振替授業日 4月14日(月)は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。

4月30日(水)は、水曜日の授業は行わずに火曜日の授業を行う。

5月8日(木)は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日 5月30日(金)午前 7月16日(水)全日 7月25日(金)全日

○定期試験 7月17日(木) ~ 7月31日(木) ※土・日を除く。8月1日(金)は予備日。

注1: 7月24日(木) は、木曜日の授業の試験は行わずに月曜日の授業の試験を行う。

注2：7月25日（金）は補講日により試験は行わない。

〔ターム科目〕

◎授業日 (S 1 ターム)

○振替授業日 4月14日(月)は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。

4月30日(水)は、水曜日の授業は行わずに火曜日の授業を行う。

5月8日(木)は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日 5月30日(金)午前

○定期試験 6月2日(月) ~ 6月3日(火) ※6月7日(土) は予備日。

◎授業日 (S 2 ターム)

○振替授業日 7月24日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日 7月16日(水) 全日 7月25日(金) 全日

○定期試験 7月28日(月) ~ 7月31日(木) ※8月1日(金) は予備日。

授業時間(90分)			授業時間(105分)		
1時限	8時30分	～	10時00分	1時限	8時30分
2時限	10時25分	～	11時55分	2時限	10時25分
3時限	13時15分	～	14時45分	3時限	13時00分
4時限	15時10分	～	16時40分	4時限	14時55分
5時限	17時05分	～	18時35分	5時限	16時50分
6時限	19時00分	～	20時30分	6時限	18時45分

2025年度 総合文化研究科 授業等日程

◆ 10月～2月 授業等日程

●授業期間	10月2日(木)	～	1月19日(月)
●授業休止日	11月21日(金)	全日	：駒場祭準備のため
	11月25日(火)	午前	：駒場祭片付けのため
	1月16日(金)	全日	：大学入学共通テスト準備のため
●祝休日等利用日	10月13日(月)		
	11月29日(土)	全日	：A1ターム定期試験予備日
	2月7日(土)	全日	：Aセメスター/A2ターム定期試験予備日

〔セメスター科目〕

◎授業日 (Aセメスター)

※11/27はセメスター科目の授業はなし

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月曜日	AM PM	10/6 10/13	10/20 10/27	10/27 11/6	11/10 11/17	11/17 12/1	12/1 12/8	12/8 12/15	12/15 12/22	12/22 1/5	1/5 1/19		
	AM PM	10/7 10/14	10/21 10/28	10/28 11/4	11/11 11/18	11/18 12/2	12/2 12/9	12/9 12/16	12/16 12/23	12/23 1/6	1/6 1/13		
水曜日	AM PM	10/8 10/15	10/22 10/29	10/29 11/5	11/12 11/19	11/19 12/3	12/3 12/10	12/10 12/17	12/17 12/24	12/24 1/7	1/7 1/14		
	AM PM	10/2 10/9	10/16 10/23	10/23 10/30	10/30 11/13	11/13 11/20	11/20 12/4	12/4 12/11	12/11 12/18	12/18 12/25	12/25 1/8	1/8 1/15	
金曜日	AM PM	10/3 10/10	10/17 10/24	10/24 10/31	10/31 11/7	11/7 11/14	11/14 11/28	11/28 12/5	12/5 12/12	12/12 12/19	12/19 12/26	12/26 1/9	

○振替授業日 11月6日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日 11月25日(火) 午後 11月26日(水) 全日 1月20日(火) 全日
1月21日(水) 全日 1月29日(木) 全日

○定期試験 1月22日(木) ～ 2月3日(火) ※土・日を除く。2月7日(土) は予備日。

注：1月29日(木) は補講日により試験は行わない。

〔ターム科目〕

◎授業日 (A1ターム)

週1コマ	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
月曜日	AM PM	10/6 10/13	10/20 10/27	10/27 11/6	11/10 11/17	11/17 12/1	12/1 12/8
	AM PM	10/7 10/14	10/21 10/28	10/28 11/4	11/11 11/18	11/18 12/2	12/2 12/9
水曜日	AM PM	10/8 10/15	10/22 10/29	10/29 11/5	11/12 11/19	11/19 12/3	12/3 12/10
	AM PM	10/2 10/9	10/16 10/23	10/23 10/30	10/30 11/13	11/13 11/20	11/20 12/4
金曜日	AM PM	10/3 10/10	10/17 10/24	10/24 10/31	10/31 11/7	11/7 11/14	11/14 12/5

○振替授業日 11月6日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日 11月25日(火) 午後 11月26日(水) 全日

○定期試験 11月27日(木) ※11月29日(土) は予備日。

◎授業日 (A2ターム)

週1コマ	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
月曜日	AM PM	12/1 12/8	12/15 12/22	12/22 1/5	1/5 1/19	1/19 1/26	1/26 1/27
	AM PM	12/2 12/9	12/16 12/23	12/23 1/6	1/6 1/13	1/13 1/27	1/27 1/28
水曜日	AM PM	12/3 12/10	12/17 12/24	12/24 1/7	1/7 1/14	1/14 1/28	1/28 1/29
	AM PM	12/4 12/11	12/18 12/25	12/25 1/8	1/8 1/15	1/15 1/22	1/22 1/23
金曜日	AM PM	11/28 12/5	12/12 12/19	12/19 12/26	12/26 1/9	1/9 1/23	1/23 1/24

○振替授業日 なし

○補講日 1月20日(火) 全日 1月21日(水) 全日 1月29日(木) 全日

○定期試験 1月30日(金) ～ 2月3日(火) ※土・日を除く。2月7日(土) は予備日。

授業時間(90分)			授業時間(105分)		
1時限	8時30分	～ 10時00分	1時限	8時30分	～ 10時15分
2時限	10時25分	～ 11時55分	2時限	10時25分	～ 12時10分
3時限	13時15分	～ 14時45分	3時限	13時00分	～ 14時45分
4時限	15時10分	～ 16時40分	4時限	14時55分	～ 16時40分
5時限	17時05分	～ 18時35分	5時限	16時50分	～ 18時35分
6時限	19時00分	～ 20時30分	6時限	18時45分	～ 20時30分

履修・学籍関係等に関する注意事項（概要）

（1）修了要件・教育課程等について <詳細は p.6~/p.25~/>

修了要件及び教育課程については、大学院便覧に掲載の大学院学則第2章及び第3章を参照すること。また、修了要件（単位）及び所属専攻（分野）・系・プログラムの定めた必修の単位は、「履修に関する手続（p. 6~/）」及び「授業科目一覧（p. 25~/）」を確認すること。

（2）修業年限・在学年限について

【修業年限（大学院学則第2条第5項）】

〔大学院修了のため最低在学しなければならない期間（休学期間を除く）〕

修士課程：2年 博士後期課程：3年

※各課程に入・進学し上記の年限が経過した後も引き続き在学する場合は、「在学期間延長届」を提出し、退学を希望する場合は、「退学願」を提出すること。どちらも提出しなかった場合は、在学年限まで在学扱いとなる。

【在学年限（大学院学則第27条）】〔最長で在学できる期間（休学期間は除く）〕

修士課程：3年 博士後期課程：5年

※在学年限が満了する場合も「退学願」を提出すること。

（3）休学等について <詳細はp.11~/>

【休学期間（大学院学則第29条）】

修士課程：2年 博士後期課程：3年

※休学をすると、その期間は修業年限に含めないので注意すること。

【休学・復学手続等（学部通則第6章）】

休学及び復学手続の詳細は、「休学等の手続（p. 11~/）」を確認すること。休学（延長）手続を怠った場合は、願い出の時期によっては授業料納付の義務が生じるので留意すること。

（4）海外留学・海外渡航について <詳細はp.13~/>

海外留学・海外渡航をする場合（短期間（2ヶ月以内）の渡航を含む）には、教務課総合文化大学院チームにおいて必要な手続きをすること。手続きの詳細は、「海外渡航をする場合の手続（p. 13~/）」を参照すること。

（5）学生への連絡について

教務課からの連絡や、休講・教室変更等については、総合文化大学院生ホームページや次ページ（7）UTAS（学務システム）を確認すること。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html> (QR コード1)

QR コード1



※留学生向け情報と海外留学奨学金（留学・海外渡航の情報）は、「グローバル駒場」ホームページやアドミニストレーション棟1階の国際交流支援チーム前に掲示してあるので、必要な場合は確認すること。<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/> (QR コード2)

QR コード2



※学生生活に関する事、日本学生支援機構奨学金及び授業料免除等については、学生生活支援ホームページで確認すること。<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/index.html> (QR コード3)

QR コード3



（6）UTokyo Accountについて

UTokyo Accountとは、本学の教育に関わる情報システム（UTAS等）を利用するための共通アカウント。以下を参照すること。

【新規でUTokyo Accountを取得した場合】

1. 「UTokyo Account パスワード通知書」を受け取る。

※初期パスワードのままではサービスは利用できない。

2. UTokyo Account のホームページ「利用者メニュー」から、UTokyo Account の初期パスワードを変更する。<https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet> (QR コード4)

※新しいパスワードの反映までは10分程度時間を要する。

QR コード4



3. 変更後のパスワードで UTAS にログインし、住所・メールアドレス等の連絡先を登録する。
4. ポータルサイト「utelecon」の「UTokyo Account 多要素認証の初期設定手順」のページを確認し、UTokyoAccount の多要素認証を有効化する。
https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_account/mfa/initial/ (QR コード 5)



【パスワードを忘れた場合】

UTAS にメールアドレスを登録している者は、UTokyo Account のホームページ「利用者メニュー」からパスワードを再設定できる。

<https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet> (前ページ QR コード 4)



【留意事項】

- ・UTokyo Account に関する詳細は、ポータルサイト「utelecon」の「UTokyo Account」のページを確認すること。https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_account/ (QR コード 6)
- ・情報セキュリティ教育を毎年度受講すること。(QR コード 7)
https://univtokyo.sharepoint.com/sites/Security/SitePages/Information_Security_Education.aspx
- ・離籍する場合、UTokyo Account は失効し、ECCS クラウドメール等はアクセス不可となる。詳細はポータルサイト「utelecon」の「卒業・退職や所属変更によるアカウント失効についての注意」のページを確認すること。
<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/systems/leave/> (QR コード 8)



(7) UTAS(学務システム)について

UTAS では、シラバスの参照、履修登録、成績の確認等ができる。UTAS へは UTokyo Account のユーザー名・パスワードでログインするため、「(6) UTokyo Account について」に記載の手続きを行うこと。UTAS ログイン：<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/> (QR コード 9)



(8) 大学生活に必要な情報システムの準備について

ポータルサイト「utelecon」の「大学生活に必要な情報システムの準備について(新入生向け)」のページを確認し、準備すること。<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/oc/> (QR コード 10)



(9) 連絡先の登録・変更について

連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)に変更がある場合は、UTAS に最新の連絡先を登録すること。住所を変更する場合は、総合文化大学院チームに届け出ること。

通学定期乗車券発行控の住所変更は、学生支援課学生支援チーム(アドミニストレーション棟1階8番窓口)に問い合わせること。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/commute/index.html> (QR コード 11)



(10) 教務課窓口の受付時間について

受付時間：10時00分～16時00分 ※ただし、12時30分～13時30分閉室。

業務時間の変更もあるので、総合文化大学院生ホームページを確認すること。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html> (QR コード 12)



(11) 証明書等について

交付願提出日を含めず、土・日・祝日を除いて、和文は3日後、英文は5日後に交付される。

在学証明書(和文・英文)、成績証明書(和文・英文)、学割及び修了見込証明書(和文・英文、今年度、修士課程修了予定者のみ)については、証明書自動発行機(アドミニストレーション棟1階)により即時発行される。

(12) 学生証の更新について

在学期間の延長をした者又は学生証の有効期間が過ぎている者は、旧学生証を持参のうえ、総合文化大学院チームに申し出ること。

(13) 指導教員ならびに副指導教員について

大学院総合文化研究科では、指導教員の他に副指導教員制度を設けている。指導教員ならびに副指導教員の決定及び変更については、所属する専攻・系の事務室に確認すること。

履修に関する手続

1. 修士課程の修了要件（単位）について

標準修業年限は2年であり、30単位以上を修得し、修士の学位論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

各専攻（分野）・系・プログラムでの修了要件（単位）の詳細については、以下を参照し、履修すること。

（1）～（6）いずれも、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・系・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び学部（後期課程）^{注3}の科目を履修し、修士課程の単位とすることができるが、学部（後期課程）の科目は8単位を限度とする。なお、博士後期課程のみ対象の科目は履修できないので、注意すること。

（1）各専攻（分野）・系

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目から16単位以上（各指導教員による論文指導の単位を含めることができる）を修得しなければならない。

広域科学専攻の各系の必修科目については、上記に加えて、各系の授業科目一覧（時間割）の注意事項を参照し、履修すること。

（2）「人間の安全保障」プログラム

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目から12単位以上、プログラム科目から14単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「人間の安全保障基礎論Ⅰ・Ⅱ」の4単位は必修とする。また、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目のうち、論文指導に相当する科目については、原則として修了予定年度において履修し、4単位を上限として修了必要単位に認定するものとする。

（3）欧州研究プログラム

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から16単位以上、プログラム科目から14単位以上を修得しなければならない。そのうち、「現代欧州研究の方法」、「欧州研究演習Ⅰ」、「欧州研究演習Ⅱ」の6単位は必修とし、「欧州統合史」、「欧州政治論」、「EU法」、「欧州公共秩序思想」、「現代ドイツ基層論」の中から4単位を選択必修とする。

（4）多文化共生・統合人間学プログラム（学位授与プログラムの場合）

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から12単位以上、プログラム科目から14単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「多文化共生・統合人間学講義Ⅰ」、「多文化共生・統合人間学特別研究Ⅰ」、「多文化共生・統合人間学特別研究Ⅱ」の4単位を必修とし、「多文化共生・統合人間学講義Ⅱ～Ⅳ」の中から2単位、「多文化共生・統合人間学講義Ⅴ～Ⅷ」の中から4単位、「多文化共生・統合人間学演習Ⅰ～Ⅺ」の中から2単位、「多文化共生・統合人間学実験実習Ⅰ～Ⅴ」の中から2単位を選択必修とする。

(5) グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院（修博一貫）

「（1）各専攻（分野）・系」の修了要件に加えて、以下のページより要件を確認すること。（右のQRコード）

<https://www.gsi.c.u-tokyo.ac.jp/education/wings/curriculum/>



プログラム履修生が修得したプログラム科目は、修了要件（単位）に算入されない。

(6) 先進基礎科学推進国際卓越大学院（修博一貫）

「（1）各専攻（分野）・系」の修了要件に加えて、以下のページより要件を確認すること。（右のQRコード）

<http://wings-abc.c.u-tokyo.ac.jp/units/>



プログラム履修生が修得したプログラム科目は、修了要件（単位）に算入されない。

注1) 超域文化科学専攻においては、所属コースの科目及び超域文化科学専攻共通科目が、所属分野の科目となる。

注2) 科学技術インタープリター養成プログラム、日独共同大学院プログラム及び英語教育プログラムの科目は、各プログラムに登録する者以外は履修することができない。

注3) 学部（後期課程）の科目には、グローバル教育センターが開講するグローバル教養科目も含まれる。

2. 博士後期課程の修了要件（単位）について

標準修業年限は3年であり、20単位以上を修得し、博士の学位論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

各専攻（分野）・系・プログラムでの修了要件（単位）の詳細については、以下を参照し、履修すること。

（1）～（5）いずれも、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・系・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び医学部医学科の科目を履修し、博士後期課程の単位とすることができます。

修士課程において30単位を超えて履修した者は、指導教員の承認を得てその超過単位の中8単位を限度として、博士後期課程の単位とすることができるが、その手続きは最終年次のみとする。希望する者は、最終学期の初めに教務課総合文化大学院チームで相談すること。

なお、修士課程のみ対象の科目は履修できないので、注意すること。

また、特段の理由がない限り、学部（後期課程）^{注3}の科目は履修できない。特段の理由があり履修を希望する場合は、総合文化大学院チームで相談すること。

（1）各専攻（分野）・系・「人間の安全保障」プログラム共通

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目から8単位以上（各指導教員による論文指導の単位を含めることができる。）を修得しなければならない。

（2）グローバル共生プログラム

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から4単位以上、プログラム科目から14単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「博士論文準備演習I～V」の10単位は必修とする。

（3）多文化共生・統合人間学プログラム（学位授与プログラムの場合）

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から4単位以上、プログラム科目から9単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「多文化共生・統合人間学特別研究III」、「多文化共生・統合人間学特別研究IV」、「多文化共生・統合人間学特別研究V」の3単位を必修とする。ただし、博士後期課程から本プログラムに入学した者は、「多文化共生・統合人間学講義I」の2単位も必修とする。

（4）グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院（修博一貫）

「（1）各専攻（分野）・系・「人間の安全保障」プログラム共通」の修了要件に加えて、以下のページより要件を確認すること。（右のQRコード）

<https://www.gsi.c.u-tokyo.ac.jp/education/wings/curriculum/>



プログラム履修生が修得したプログラム科目は、修了要件（単位）に算入されない。

（5）先進基礎科学推進国際卓越大学院（修博一貫）

「（1）各専攻（分野）・系・「人間の安全保障」プログラム共通」の修了要件に加えて、以下のページより要件を確認すること。（右のQRコード）

<http://wings-abc.c.u-tokyo.ac.jp/units/>



プログラム履修生が修得したプログラム科目は、修了要件（単位）に算入されない。

注1）超域文化科学専攻においては、所属コースの科目及び超域文化科学専攻共通科目が、所属分野の科目となる。

注2）科学技術インタープリター養成プログラム、日独共同大学院プログラム及び英語教育プログラムの科目は、各プログラムに登録する者以外は履修することができない。

注3）学部（後期課程）の科目には、グローバル教育センターが開講するグローバル教養科目も含まれる。

3. 総合文化研究科の科目における「同一科目」の単位の認定について

「同一科目」とは、科目番号（末尾のS、A、Tは除く）を同一にする授業科目のことである（同一科目名でも科目番号が異なれば、別の科目として取り扱う）。

	文系専攻所属学生	広域科学専攻所属学生
修士	同一科目番号の科目について、それぞれ4単位を限度として認定する。	同一科目番号の科目については、単位は認定されない。ただし、例外となる科目（必修科目等）があるので、授業科目一覧（時間割）の注意事項で確認すること。
博士	特に制限を設けない。ただし各専攻の論文指導科目については8単位を限度とする。	

4. 履修手続方法

(1) Web 履修登録について

指導教員の指導により履修科目を決め、履修科目登録手続期間に、UTAS（学務システム）で履修登録を行うこと。論文指導科目や必修科目も履修登録を行うこと。履修登録完了後、UTAS から履修科目控などの履修登録した科目がわかるものを出力し、指導教員に提出すること。

なお、UTokyo Account パスワード通知書を入手していない者は、教務課総合文化大学院チームで受け取ることができる。

Sセメスター・S1ターム・S2ターム及び通年の開講科目

・・・ 4月初旬～5月初旬の履修科目登録手続期間に登録

Aセメスター・S1ターム・S2ターム及び通年の開講科目

・・・ 10月初旬～10月下旬の履修科目登録手続期間に登録

集中講義 ・・・ 開講学期の履修科目登録手続期間に登録

集中講義も含め履修科目登録手続期間以外の登録、修正は一切受け付けられない。詳細は、UTAS の Web 上に掲載されている「UTAS 利用者マニュアル」を参照すること。

(2) 学部（後期課程）の授業科目の履修登録について

修士課程学生のみ学部（後期課程）の授業科目を履修できる。1・2年生対象の授業科目は履修できない。

博士後期課程学生は学部の授業科目は履修できないが、教職科目、資格取得等の場合については学部（後期課程）の科目につき履修可能とする。履修希望者は、メールまたは「履修科目届（学部科目履修用）」（用紙は総合文化大学院チームで受け取ること）により、履修科目登録手続期間内に必ず総合文化大学院チームへ申請すること。履修理由の欄に教職科目、○○資格取得のためと明記すること。詳細は総合文化大学院チームホームページで案内するので、確認のうえ手続きを進めること。なお、学部（後期課程）の科目は博士後期課程の修了単位に算入されない。

(3) 他大学の授業科目の履修登録について

次ページの他大学大学院の授業科目の履修登録をする場合は、UTAS での登録はで

きないので、メールまたは「履修科目届（他大学科目履修用）」（用紙は総合文化大学院チームで受け取ること）により、履修科目登録手続期間内^{注4}に必ず総合文化大学院チームへ申請すること。履修科目届には科目名の下に大学名を明記すること。指導教員の許可を得て、修士課程及び博士後期課程を通じて 10 単位（外国の大学の大学院において修得し、認定された単位数と合わせて 15 単位）を限度として修了単位に算入することができる。詳細は総合文化大学院チームホームページで案内するので、確認のうえ手続きを進めること。

○お茶の水女子大学

履修可能専攻等：広域科学専攻相関基礎科学系

履修可能科目：お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻
修士前期課程及び博士後期課程で開講している授業科目

○国際連合大学

履修可能専攻等：特に指定なし

履修可能科目：国際連合大学サステイナビリティ高等研究所
修士課程及び博士後期課程で開講している授業科目

注 4) 履修科目登録手続期間前に別途手続期限を設ける場合がある。総合文化
大学院チームホームページを参照のこと。



<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html> (右の QR コード)

休学等の手続

休学をする場合は、次のことについて、十分心得ておくこと。

1. 休学の手続

休学をする場合は、必ず指導教員と相談のうえ、手続きを進めること。

教務課総合文化大学院チームで休学願の用紙の交付を受け（または総合文化大学院チームホームページより取得する）、必要事項を記入した後、指導教員の捺印と、専攻長・系長の捺印（所属する専攻等の事務室から指示を受けること）を受けてから、休学願及び必要書類（下表参照）を総合文化大学院チームへ提出すること。授業料未納・書類不備の場合は受理しない。

休学願の提出期限は、休学期間が開始する1ヶ月前とする。休学を延長する場合も休学期間が終了する1ヶ月前までに休学の再手続をすること。

なお、申請時の休学期間は最大1年間（ただし、病気による休学は年度毎に申請が必要）とする。

休学の理由	休学のために必要な書類
海外修学	休学願、修学計画書、入学許可証明書（写）または在学証明書（写） ※和訳又は英訳を必ず添付すること
海外への学術調査	休学願、調査・見学計画書（日程表含む）
経済的理由	休学願、理由書（書式自由、理由を詳細に400字程度で作成すること）
病気	休学願、医師の診断書
出産または育児	休学願、母子手帳（写）※（改姓をした場合は、旧姓・新姓の両方が分かる身分証明書も持参すること）
介護	休学願、医師の診断書
社会に貢献する活動	休学願、計画書（書式自由、詳細に書くこと）
一時帰国	休学願、理由書（書式自由、詳細に書くこと）

※出産前の場合は、母子手帳の表紙の写、出産後は表紙に加えて出生届出済証明のページの写も提出すること。また、男性が育児を理由に休学する場合は、子と同世帯と分かる書類も添付すること。

※総合文化大学院チームホームページ（<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/index.html>）（QRコード）に必要書類及び記入上の注意を掲載しているので、参照すること。



2. 休学期間・修業年限・在学年限（大学院学則第29条・第2条第5項・第27条参照）

休学期間として認められる期間は2ヶ月以上で、修士課程においては2年、博士後期課程においては3年を超えることはできない。

休学した期間は、修業年限（修士：2年・博士：3年）及び在学年限（修士：3年・博士：5年）には算入されないので注意すること。

また、学期途中までの休学申請を希望する場合、授業料の取扱いについて事前に必ず総合文化大学院チームに問い合わせること。

3. 復学

休学期間に休学の事由が解消された場合は、総合文化大学院チームで復学願の用紙の交付を受け（または総合文化大学院チームホームページより取得する）、必要事項を記入した後、指導教員の捺印と、専攻長・系長の捺印（所属する専攻等の事務室から指示を受けること）を受けてから、総合文化大学院チームへ提出すること。

復学願の提出期限は、復学する1ヶ月前とする。

また、休学期間が終了し復学する場合も、必ず復学願を提出すること。なお、休学期間が終了し、復学願等を提出しなかった場合は、次学期（休学が終了した月の翌月）以降も在学することとして扱い、次学期の授業料が発生するので、必ず復学願等を提出すること。

休学の理由が病気であった場合は、復学願の他に、医師の診断書を添付すること。

※総合文化大学院チームホームページ（<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/index.html>）（QRコード）に必要書類及び記入上の注意を掲載しているので、参照すること。



4. 授業料

休学する者は、原則としてその期間の授業料は免除される。休学する場合は、提出期限内に上記1. の手続きをすること。なお、学期の途中から休学する場合はこの限りではないので、早めに総合文化大学院チームに問い合わせること。

手続きに遅れた場合は、前期（4月～9月）分あるいは後期（10月～3月）分の授業料を納入しなければならないので注意すること。

復学した場合は、復学した月から当該学期末までの授業料を、復学した月内に納入しなければならない。

なお、すでに納入した授業料については、返還しない。

5. 学位論文申請

休学期間中は、学位論文は提出できないので、注意すること。

(1) 海外渡航をする場合の手続

海外渡航をする場合、あるいは留学生が一時帰国をする場合は、総合文化大学院生ホームページの「海外渡航」（<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/goingabroad/index.html>）（右のQRコード）を参照し、渡航予定日の1ヶ月前までに、海外渡航届提出フォームより登録すること。



2ヶ月以上の海外渡航を予定している場合は、海外渡航届提出フォームとは別に、学籍の手続きが必要となる。以下を確認し、手続き期限までに、総合文化大学院チームに必要書類を提出すること。また、P.14「学生の海外渡航（留学・学術調査等）に伴う安全情報について」を参考にし、安全対策に対する意識を高めておくこと。

また、海外に3ヶ月以上滞在する日本国籍を持つ者は、最寄りの在外日本国大使館あるいは総領事館（在外公館）に在留届を必ず提出すること。

1. 休学して海外へ渡航

2ヶ月以上、海外の教育・研究施設等において修学する場合、あるいは海外において調査・見学を必要とする場合（P.11「休学等の手続」を参照すること）。

休学して、外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を修得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、15単位（下記3. 及び次頁（2）で認定した単位、国内の他大学院において修得し、認定した単位を含む）を超えない範囲で本研究科において相当する科目及び単位を修得したものと認定することができる（平成25年4月1日より前に休学した分は除く）。ただし、原則として、休学の理由は海外修学のみとする。希望者は、休学期間終了後に総合文化大学院チームで必要な手続きをとること。単位の認定は、申請内容を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。

2. 在学身分のまま学術調査等のため海外へ渡航

2ヶ月以上、海外へ渡航して学術調査等を行う場合、開始予定日の2ヶ月前までに手続きをすること。

期間は、おおむね修業年限の2分の1（修士課程においては1年、博士後期課程においては1年半）を超えないものとする（博士課程の学生については、研究分野の特性等により、特に必要と認められる場合には、修業年限の2分の1を超えて学術調査等に従事することができる）。在学身分のままであるため、海外渡航中でも授業料は納めなければならない。

2021年度Aセメスターから、渡航中に本学の（オンラインで開講されている）授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。なお、渡航先の大学等で修得した単位の認定は行わない。

3. 海外留学（大学院学則第28条参照）

海外の大学等に留学する場合、開始予定日の2ヶ月前までに手続きをすること。期間は、おおむね1年とする。在学身分のままであるため、留学期間中でも授業料は納めなければならない。

なお、留学して、外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を修得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、15単位（上記1. 及び次頁（2）で認定した単位、国内の他大学院において修得し、認定した単位を含む）を超えない範囲で本研究科において相当する科目及び単位を修得したものと認定することができる。希望者は、留学期間終了後に総合文化大学院チームで必要な手続きをとること。単位の認定は、申請内容を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。

2021年度Aセメスターから、留学中に本学の（オンラインで開講されている）授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。

4. 研究指導の委託による海外への渡航（大学院学則第12条参照）

研究指導の委託により海外へ渡航をする場合、開始予定日の2ヶ月前までに手続きをすること。

期間は、1年を超えないものとする。ただし、博士後期課程においてはさらに1年以内に限り延長することができる。在学身分のままであるため、海外渡航中でも授業料は納めなければならない。なお、2021年度Aセメスターから、渡航中に本学の（オンラインで開講されている）授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。

5. 日本学術振興会特別研究員DCの海外への渡航

博士後期課程に在学したまま日本学術振興会特別研究員（DC1、DC2）に採用された者が28日以上海外へ渡航する場合は、原則として、研究指導の委託又は研究遂行による渡航しか認められない。通算渡航期間の上限は、採用期間の2/3となっている。ただし、研究指導の委託による渡航期間は、通算渡航期間からは除外する。

日本学術振興会には、渡航1ヶ月前までに【学振マイページ】にて必要事項を連絡すること。また、帰

国日から1ヶ月以内に学振の所定様式《海外渡航届》と《海外渡航報告書》をそれぞれ作成すること。日本学術振興会には所属機関から電子メールで提出することが求められているため、作成した所定様式(wordファイル、.docx形式で保存していること)は、総合文化大学院チームまで電子メールにて提出すること。メールの件名は「学振 DC1_氏名_海外渡航届・報告書の提出依頼(帰国日:yyyymmdd)」

なお、2021年度Aセメスターから、渡航中に本学の(オンラインで開講されている)授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。

2ヶ月以上の渡航時の申請に必要な書類

休学	修学	休学願、修学計画書、入学許可証明書または在学証明書
	調査・見学	休学願、調査・見学計画書(日程表含む)
在学身分のまま	留学	留学許可願、入学許可証明書または在学証明書
	調査・見学	海外渡航申請書(在学身分のまま)
	研究指導の委託	研究指導委託申請書
日本学術振興会 特別研究員採用 者の海外渡航 学振の様式は《》	研究 指導	【渡航前】研究指導委託申請書、委託先大学等機関の受入許可書コピー、 《学振マイページ》での手続 【帰国後】《海外渡航届》《海外渡航報告書》
	研究 遂 行	【渡航前】海外渡航申請書(在学身分のまま)、《学振マイページ》での手続 【帰国後】《海外渡航届》《海外渡航報告書》

学生の海外渡航(留学・学術調査等)に伴う安全情報について

渡航に際しては、安全確保のため、海外留学・国際交流情報サイト「GO Global」を事前に熟読すること。<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html> (QRコード1)

併せて、総合文化大学院チームホームページの「海外渡航者向け危機管理サービス(OSSMA)について」も参照すること。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/goingabroad/ossma.html> (QRコード2)



公的機関による主な安全情報

1. 外務省関係

外務省ホームページの「海外渡航・滞在」の「海外安全対策」から「海外安全ホームページ」で国別の安全情報・海外危険情報を閲覧できる。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html> (QRコード3)



併せて、外務省からの最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、緊急連絡などを受け取れるよう、事前に必ず外務省が実施している渡航登録サービス(「たびレジ」又は「在留届」)に登録すること。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html> (QRコード4)



2. 厚生労働省関係

成田空港検疫所ホームページにより、海外感染症情報等を提供。

<https://www.forth.go.jp/keneki/narita/index.html> (QRコード5)



(2) 外国の大学院が行う通信教育における授業科目を日本国内で履修し単位を修得した場合

外国の大学の大学院が行う通信教育において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を修得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、15単位(前頁1.及び3.で認定した単位、国内の他大学院において修得し、認定した単位を含む)を超えない範囲で本研究科において相当する科目及び単位を修得したものと認定することができる。希望者は、総合文化大学院チームで必要な手続きをとること。単位の認定は、申請内容を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。

修士学位論文提出要領

1. 修士学位論文提出資格

2026年3月末日までに、本研究科で定めた修業年限以上在学し、所属専攻・系の授業科目16単位以上を含む30単位以上を履修して修得する見込みの者。

※プログラム所属者は、それぞれの修了要件を確認すること。

2. 学位論文題目届の提出

(1) 提出期間

専 攻 ・ 系	学 位 論 文 題 目 届 提 出 期 間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2025年10月29日(水)～11月 5日(水)
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 相関基礎科学系	2025年12月 1日(月)～12月 8日(月)

(2) 提出場所

教務課総合文化大学院チーム【窓口またはサイト提出】

提出サイト：<https://forms.gle/HbBBehJDgc3jQVjF6> (右のQRコード)



また、題目届の提出期間内に学務システム UTAS に論文題目を登録すること。

UTAS > PC 版 > 論文管理タブ > 論文題目事前登録

(3) 受付時間

窓 口：10:00～12:30、13:30～16:00 (時間厳守)

提出サイト：(文系4専攻、HSP、IHS) 10月29日(水) 10時から最終日16時まで
(広域科学専攻) 12月 1日(月) 10時から最終日16時まで

※不備がある場合は、受理しない。

(4) 学位論文題目届は、所定の用紙に指導教員の承認の押印を受けて提出すること。

押印がない場合は、指導教員から題目届を確認し、提出を許可する旨の承諾メールを題目届と一緒に提出すること。自署欄以外は、パソコンで入力すること。

(5) 学位記の氏名は、この題目届の文字を用いるので、原則として戸籍簿等のとおりに楷書で正確に記入すること。

ただし、外国人学生（漢字を氏名に使用しない者）については、ローマン・アルファベットとする。論文本体の表紙、論文要旨、学位論文提出届等の学位論文申請手続きに関する全ての書類について、氏名の表記を統一させること。

※旧姓使用等については、総合文化大学院チーム窓口にて確認すること。

(6) 論文題目について、題目が日本文の場合はその英語訳を()書きで必ず書き添えること。

また題目が英文の場合は活字体で記入し、その日本語訳を()書きで必ず書き添えること。

(7) 「生年月日」と「学位記に記載する生年月日の年号表記」(和暦/西暦)を統一すること。

3. 論文及び論文要旨の提出

(1) 提出方法・期間

《窓口提出》

専 攻 ・ 系	学 位 論 文 提 出 期 間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2025年12月 3日(水)～12月10日(水)

《オンライン提出》

専攻・系	学位論文提出期間
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 相関基礎科学系	2026年 1月 7日(水) ~ 1月15日(木)

(2) 提出場所

- **文系4専攻、HSP、IHS: 教務課総合文化大学院チーム【窓口】**
ただし、提出期間最終日は下記のとおりとする。

専攻・系	学位論文提出期間最終日	提出場所
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2025年12月10日(水)	18号館4階 コラボレーションルーム1(予定)

- **広域科学専攻: 教務課総合文化大学院チーム【オンライン提出】**
※提出方法については総合文化大学院チームホームページ上に掲載するので、確認すること。

(3) 受付時間

10:00 ~ 12:30、13:30~16:00 (時間厳守)

オンラインによる提出の場合も、受付締切時間は同じとする。

※受付時間を過ぎたもの、書類等が不備なものについては、特段の理由がない限り受理しない。

(注) ここで言う「特段の理由」とは、不慮の事故や災害、法律で指定された感染症等の急な発症など、通常予測不可能であり、かつ本人に責を帰すべき事由のいっさい存在しない場合に限られる。プリンターの故障や不具合、通常予想できる範囲の交通機関の遅れ、重篤でない病気などは該当しない。

なお、「特段の理由」に該当すると思われる場合は、その事実を証明する文書を添付して指導教員に申し出ること。

(4) 指導教員の承認を受けてから提出すること。

(5) 提出書類等

ア) 学位論文提出届 1部

※所定の用紙は、総合文化大学院チームホームページ上から入手できる。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/master/index.html> (右のQRコード)



論文題目(英語訳も必ず記入すること)はパソコンで入力し、印刷のうえ以下の書類を添えて提出すること。

イ) 論 文 3部

ウ) 論 文 要 旨 3部

※イ)、ウ)について、専攻・系等より別途追加提出の指示がある場合は必ずその指示に従うこと。

※オンラインによる提出の場合はファイル形式を全てPDFとし、各1部を提出すること。

4. 論文及び論文要旨作成要領

(1) 言語情報科学専攻、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、国際社会科学専攻

①論文

ア) 原則としてA4判とし、日本語及び欧文の場合は、パソコン等を使用し印刷したもの、中国

語等の場合は、原稿用紙等に清書又はパソコン等を使用し印刷したものを、仮製本以上（バインダー綴不可）の装丁にすること。

イ) 表紙については、以下の「論文の表紙の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻（分野）名、学生証番号及び氏名等を記載すること。

ウ) 分冊となる場合は、各分冊の表紙にそれぞれ論文と同様に論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻（分野）名、学生証番号及び氏名等を記載すること。この場合、論文の背の部分の下部に分冊番号並びに氏名を付記すること。

②論文要旨

ア) A4判で、記載方法は論文に準ずるものとし、日本語及び中国語等の場合は4,000字以内、欧文等の場合は10枚以内を原則とし、図表等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写すること。ただし、各専攻において特別な指示がある場合は、その指示によること。

イ) 表紙については、以下の「論文要旨の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻（分野）名、学生証番号及び氏名等を記載すること。

ウ) 論文とは別にして綴じること。

（2）広域科学専攻

①論文

ア) 原則としてA4判とし、日本語及び欧文いずれの場合もパソコンを使用し印刷したものを、仮製本以上（バインダー綴不可）の装丁にすること。

イ) 表紙については、以下の「論文の表紙の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。

ウ) 分冊となる場合は、各分冊の表紙にそれぞれ論文と同様に論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。この場合、論文の背の部分の下部に分冊番号並びに氏名を付記すること。

②論文要旨

ア) A4判で、記載方法は論文に準ずるものとし、日本文で図表を含めて4,000字以内とする。図表及び化学記号等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写すること。ただし、専攻・系において特別な指示がある場合は、その指示によること。

イ) 表紙については、以下の「論文要旨の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。

ウ) 論文とは別にして綴じること。

5. その他

○ 授業料未納の者は、修了することはできないので注意すること。

○ **所定の用紙は、2025年10月1日（水）以降** 総合文化大学院チームホームページ上に掲載するので、学位論文題目届提出期間の前に入手し、**余裕をもって準備すること。**

○ 学位記の氏名について

学位記の氏名は、学位論文題目届に記入した氏名をもとに作成するため、戸籍簿等の記載のとおり楷書で記入すること。漢字圏以外の国籍をもつ外国人学生は、ローマン・アルファベット表記となる。なお、旧姓の表記を希望する場合や外国人学生（日本国籍を持つ多重国籍者を含む）で氏名の表記について特段の事情がある場合は、規則上の制限があるので個別に総合文化大学院チームの窓口へ相談

すること。

外国人学生には、学位記のほかに「学位記の英文による証明状」を発行する。これに表記する氏名は、学位論文題目届に記入した英字（ローマン・アルファベット）表記による氏名をもとに作成する。スペルや姓・名・ミドルネームの順番等も記入したとおりの氏名で作成するため、特に、パスポート等に記載されている氏名と同じ表記を希望する場合は、留意すること。ただし、氏名は全て大文字で表記される。

英字表記による氏名を学位論文題目届に記入する際は、パソコンで入力すること。

「論文の表紙の作成例」

修士学位論文

○○○○○○○○○○○○
(外国語の場合は、日本語訳)

← 論文題目を記入

○○○年度
○○○○○専攻
○○○○○
○○○○

← 提出年度
← 専攻(分野)・系名
← 学生証番号
← 氏名

「論文要旨の作成例」

論文要旨

○○○○○○○○○○
(外国語の場合は、日本語訳)

← 論文題目

○○○○○専攻
○○○○○
○○○○

← 専攻(分野)・系名
← 学生証番号
← 氏名

← 下半分から要旨本文を記入する。

博士学位論文提出要領（課程博士用）

1. 論文提出資格

- (1) 博士後期課程に2年以上3年未満在学し、修了予定月の末日までに本研究科で定めた修業年限以上在学し、修了に必要な所要科目及び単位を修得見込みの者で、論文提出日までに授業科目10単位以上を修得している者。
- (2) 博士後期課程に3年以上在学している者で、論文提出日までに本研究科で定めた修了に必要な所要科目及び単位を修得している者。
- (3) 博士後期課程に3年以上在学し、教育課程を修了したのみで退学し、退学後3年以内の者（本学学位規則第4条第2項による）。

2. 学位論文題目届の提出

■提出期間

上記1. 論文提出資格（1）、（2）の者のうち、2026年3月23日付けの学位授与を希望する者は、下表の期間に提出すること。それ以外の者及び論文提出資格（3）の者は、学位論文と併せて提出すること。

専攻・系	提出期間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2025年10月10日（金）～10月17日（金）
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 相関基礎科学系	2025年11月7日（金）～11月13日（木）

■留意事項

- 学位論文題目届は、所定の用紙（総合文化大学院チームホームページよりダウンロード可）に指導教員の承認の押印を受けて提出すること。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/doctor/index.html> (右のQRコード)



- 学位記の氏名は、この題目届に記入した氏名を用いるので、楷書で正確に記入すること。ただし、外国人学生（漢字を氏名に使用しない者）については、ローマン・アルファベットとする。また、論文、論文の内容の要旨、履歴書及び論文目録に記載する氏名は、この題目届に記入した氏名と完全に一致させること（旧字体などパソコンで入力できないものは事前に総合文化大学院チームへ相談すること）。学位記の氏名の表記についての詳細は、下記5. 参照。
- 論文題目について、題目が日本文の場合はその英語訳を（）書きで必ず書き添えること。
また題目が英文の場合は活字体で記入し、その日本語訳を（）書きで必ず書き添えること。

■提出場所 教務課総合文化大学院チーム窓口

■受付時間 10:00～12:30/13:30～16:00（時間厳守）

3. 論文、論文の内容の要旨及び添付書類の提出

■提出方法・期間

上記1. 論文提出資格（1）、（2）の者のうち、2026年3月23日付けの学位授与を希望する者は、下表の期間に提出すること。（2）でそれを希望しない者及び論文提出資格（3）の者は、随時提出することができる。ただし、論文提出資格（1）の者が下表の期間までに提出しない場合、学位授与日は本研究科で定めた修業年限を満たした月の翌月以降となる。

専攻・系	提出期間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2025年11月18日(火)～11月28日(金)
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 相関基礎科学系	2025年12月 1日(月)～12月 8日(月)

※ 必ず指導教員の承認を受けてから提出すること。

※ 論文は在学中の者のみ提出できる。休学中の者は提出できないので、事前に復学手続を行うこと。

■提出場所 教務課総合文化大学院チーム窓口

ただし、広域科学専攻の学位論文提出期間最終日は下記のとおりとする。

専攻・系	学位論文提出期間最終日	提出場所
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 相関基礎科学系	2025年12月 8日(月)	15-101講義室(予定)

■受付時間 10:00～12:30/13:30～16:00 (時間厳守)

受付時間を過ぎたもの、書類等が不備なものについては、特段の理由がない限り受理しない。

(注) ここで言う「特段の理由」とは、不慮の事故や災害、法律で指定された感染症等の急な発症など、通常予測不可能であり、かつ本人に責を帰すべき事由のいっさい存在しない場合に限られる。

プリンターの不具合や通信障害、通常予想できる範囲の交通機関の遅れ、重篤でない病気などは該当しない。なお、「特段の理由」に該当すると思われる場合は、その事実を証明する文書を添付して指導教員に申し出ること。

■提出書類

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ア) 学位論文提出届 1部 | … 所定の用紙 |
| イ) 論 文 5部 | … 原則としてA4判 |
| ウ) 論文の内容の要旨 5部 | … A4判 |
| エ) 履歴書 7部(署名したもの2部含む) | … 所定の用紙 |
| オ) 論文目録 7部(署名したもの2部含む) | … 所定の用紙 |
| カ) 同意承諾書 6部 | … 共同研究者又は共著者がある場合 |

※カ)については、原本の複写可。ただし、その場合の原本は、共著者または学位申請者が学位取得後10年間保管のこと。

ただし、上記1. 論文提出資格(3)の者は、上記書類の他に学位論文題目届も提出すること。

また、論文提出資格(1)、(2)の者で、すでに提出している学位論文題目届の論文題目に変更がある場合は、論文提出の際にその旨申し出ること(学位論文題目届の再提出は不要)。

なお、ア)学位論文提出届、エ)履歴書及びオ)論文目録については、所定の用紙が総合文化大学院チームホームページからダウンロードできる。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/doctor/index.html> (右のQRコード)



■論文及び論文の内容の要旨作成要領

○論文

- ア) 日本語及び欧文の場合は、パソコン等を使用し印刷したもの、中国語等の場合は、原稿用紙等に清書又はパソコン等を使用し印刷したものを、仮製本以上(バインダー綴不可、背表紙が糊付けされたもの)の装丁にすること。

イ) 分冊となる場合は、論文の背の部分の下部に分冊番号（「1/2」「2/2」など）を付記すること。

○論文の内容の要旨

ア) 日本文又は英文で記入し、縦長・横組（A4タテ、横書き）とする。

イ) パソコン等を使用し、10ポイント程度の活字で印刷したものとする。ただし、複雑な数式等を含む要旨の場合は、この限りではない。

ウ) 1ページ目の上半分に標題「論文の内容の要旨」と論文題目及び氏名を記入し、下半分から内容の要旨を記載すること。

エ) 日本文の場合は4,000字以内、英文の場合は2,000語以内とし、図表、化学記号等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写し、全体で4ページ以内となるように作成すること。

4. 学位授与後の提出物等

提出方法等の詳細は、「学位申請者（課程博士）のための手引き」の「学位取得後の提出物について」を参照すること。

ア) 博士論文の電子データ

博士論文の提出については、下記「博士論文の公表方法について」を確認すること。

イ) 「論文の内容の要旨」・・・・・・2部

ウ) 「論文の内容の要旨」の電子データ

5. その他

○授業料未納の者は、修了することはできないので、注意すること。

○「学位申請者（課程博士）のための手引き」の配付時期・方法について

「学位申請者（課程博士）のための手引き（論文の表紙等の作成例、履歴書、論文目録等の記入例、学位取得後の提出物及び所定の用紙）」は、総合文化大学院チームホームページ上に掲載及び教務課総合文化大学院チームにて配付するので、学位論文題目届提出期間の前に入手し、余裕をもって準備すること。

○学位記の氏名について

学位記の氏名は、学位論文題目届に記入した氏名をもとに作成するため、戸籍簿等の記載のとおり楷書で記入すること。漢字圏以外の国籍をもつ外国人学生は、ローマン・アルファベット表記となる。なお、旧姓の表記を希望する場合や外国人学生（日本国籍を持つ多重国籍者を含む）で氏名の表記について特段の事情がある場合は、規則上の制限があるので個別に総合文化大学院チームの窓口へ相談すること。

外国人学生には、学位記のほかに「学位記の英文による証明状」を発行する。これに表記する氏名は、学位論文題目届に記入した英字（ローマン・アルファベット）表記による氏名をもとに作成する。スペルや姓・名・ミドルネームの順番等も記入したとおりの氏名で作成するため、特に、パスポート等に記載されている氏名と同じ表記を希望する場合は、留意すること。ただし、氏名は全て大文字で表記される。英字表記による氏名を学位論文題目届に記入する際は、パソコンで入力すること。

《提出書類作成上の注意》

○すべての書類で氏名の表記（スペースの有無も含む）を統一すること。

○すべての書類で題目の表記を統一すること。（記号、スペース、和文英文併記か否か等）

○論文目録、履歴書の複写は署名した原本をコピーすること。

○本要領、及び「学位申請者（課程博士）のための手引き」をよく読み、自身でもよく確認すること。

博士論文の公表方法について

学位規則の一部を改正する省令（平成25年文部科学省令第5号）が平成25年4月1日から施行され、学位取得者の博士論文の全文の公表は、学位を取得した大学の協力を得て、インターネットの利用により公表することに改正されました。

東京大学では、法令改正に伴うインターネット公表については、大学の研究成果を電子的な形態により学内外に公開することを目的とした「東京大学学術機関リポジトリ」に登録することにより実施いたします。

（※東京大学学術機関リポジトリの概要については、別紙参照。）

この機関リポジトリに登録するためには、主に次の2点を用意する必要があります。

- 博士論文の全文（最終版）に関する電子データ（PDFファイル）
- 機関リポジトリに登録するための許諾書

（※PDFファイルの作成及び東京大学学術機関リポジトリへの提供論文利用許諾要件については、別紙参照。）

許諾書の提出にあたっては、利用許諾要件を了解していることが前提になるなど、一定の条件がありますので、関係書類については、あらかじめご確認くださるようお願いします。

※なお、上記のほか、本学が認める「やむを得ない事由」により機関リポジトリに博士論文の全文を公表できない（要約を公表する）場合の電子データ（PDFファイル）の提出方法、あるいは、従来から実施している国立国会図書館等への論文の納付に関する対応などについては、課程博士、論文博士の別及びインターネット公表の方法の別などにより、学位取得者が提出しなければならない書類等が異なることになりますので、関係書類を十分にご確認のうえ、必要な書類等を提出くださるようお願いします。

学問と知の倫理について

学問研究は、既成の知識や定説を踏まえながら、自律的な努力を積み重ね、新たな知見や認識、情報を産み出し、そのことによって、科学・技術の進歩と文化の創造に寄与することを目的とするものである。そこでは、研究対象に対する真摯で公平な態度が求められるとともに、従来の、そして他人の研究成果に対する十分な敬意が払われなくてはならない。東京大学大学院総合文化研究科において学問と知の探求に携わる者は、自らの営為に独自性の誇りをもつとともに、謙虚で誠実であらねばならず、創造の真の意味に反する、盗用、剽窃などの行為は、決して許されるべきではない。学問研究には厳粛な倫理が求められることを、教育研究の場においてこそ、ともに強く心に銘記したい。

以上の倫理を遵守する教育精神にもとづき、総合文化研究科では次の申合せをする。

試験等における不正行為、および盗用、剽窃、データの捏造など論文等の作成における学問的倫理に反する行為があった場合、研究科はその学生に対し、当該単位を不合格にするだけでなく、教育会議の議を経て研究科長の命により、それまで取得した単位の一部またはすべてを取消す措置を採ることができる。また悪質と判断された者は、教育会議の議を経て「東京大学学生懲戒処分規程」に基づく処分対象としうる。なお研究科がこれらの措置を採るに際して、学生が不当な不利益を被らないよう、周到な調査を行い、慎重な判断を下すべきことは言うまでもない。

平成22年10月1日 総合文化研究科

附則 この申合せは平成22年10月1日より施行する。

授業科目一覧

授業内容は、UTAS シラバスを参照してください。

※注意

本紙掲載内容は、3月31日現在の情報で変更の可能性があります。

必ず総合文化大学院チームホームページの「講義情報」の各ページと UTAS や UTOL で最新の授業情報を確認してください。

UTAS

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

大学院 HP

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/classes/index.html>



2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

言語情報科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M200-0011A	31D200-0011A	一般言語理論Ⅰ	稻葉 治朗	2	A			
31M200-0021S	31D200-0021S	一般言語理論Ⅱ	渡邊 淳也	2	S	火5	8-324	
31M200-0021A	31D200-0021A	一般言語理論Ⅱ	渡邊 淳也	2	A			
31M200-0050A	31D200-0050A	日本語解析Ⅰ	矢田 勉	2	A			
31M200-0090S	31D200-0090S	言語記号分析Ⅰ	岡野 伸哉	2	S	木2	8-113	
31M200-0090A	31D200-0090A	言語記号分析Ⅰ	岡野 伸哉	2	A			
31M200-0110S	31D200-0110S	言語科学基礎理論演習Ⅰ	遠藤 智子	2	S	火3	18-メディアラボ2	
31M200-0130S	31D200-0130S	言語科学基礎理論演習Ⅲ	平山 真奈美	2	S	水3	10-308	
31M200-0130A	31D200-0130A	言語科学基礎理論演習Ⅲ	平山 真奈美	2	A			
31M200-0140S	31D200-0140S	言語科学基礎理論演習Ⅳ	三浦 あゆみ	2	S	金2	8-321	学部合併
31M200-0140A	31D200-0140A	言語科学基礎理論演習Ⅳ	三浦 あゆみ	2	A			学部合併
31M200-0151S	31D200-0151S	言語科学基礎理論演習Ⅴ	田中 伸一	2	S	月5	8-320	
31M200-0200S	31D200-0200S	言語科学基礎論Ⅰ	小田 博宗	2	S	水3	8-209	学部合併
31M200-0210A	31D200-0210A	言語科学基礎論Ⅱ	田中 伸一	2	A			学部合併
31M200-0220S	31D200-0220S	言語科学基礎論Ⅲ	坪井 栄治郎	2	S	水2	10-205	学部合併
31M200-0230A	31D200-0230A	言語科学基礎論Ⅳ	矢田部 修一	2	A			学部合併
31M200-0240A	31D200-0240A	言語科学基礎概論Ⅰ	大関 洋平	1	A2			学部合併
31M200-0250S	31D200-0250S	言語科学基礎概論Ⅱ	岡野 伸哉	1	S1	金4	8-207	学部合併
31M200-0260S	31D200-0260S	言語科学基礎概論Ⅲ	平山 真奈美	1	S1	木3	8-207	学部合併
31M200-0270A	31D200-0270A	言語科学基礎概論Ⅳ	川崎 義史	1	A2			学部合併
31M200-0311S	31D200-0311S	言語情報処理Ⅰ	大関 洋平	2	S	木2	18-メディアラボ2	
31M200-0330A	31D200-0330A	言語情報解析Ⅰ	広瀬 友紀	2	A			学部合併
31M200-0421S	31D200-0421S	言語情報解析演習Ⅱ	林 克彦	2	S	月3	8-209	学部合併
31M200-0450S	31D200-0450S	言語情報解析実験実習Ⅱ	川崎 義史	2	S	水4	18-メディアラボ2	
31M200-0450A	31D200-0450A	言語情報解析実験実習Ⅱ	川崎 義史	2	A			
31M200-0610S	31D200-0610S	異文化コミュニケーション論Ⅰ	松本 和子	2	S	月4	10-303	学部合併
31M200-0610A	31D200-0610A	異文化コミュニケーション論Ⅰ	松本 和子	2	A			
31M200-0620S	31D200-0620S	異文化コミュニケーション論Ⅱ	秦 邦生	2	S	金3	8-324	
31M200-0630S	31D200-0630S	対照言語文化分析Ⅰ	ペティート、ジョシュア マイケル	2	S	金2	8-206	
31M200-0631A	31D200-0631A	対照言語文化分析Ⅰ	ペティート、ジョシュア マイケル	2	A			
31M200-0690A	31D200-0690A	言語文化政策論Ⅰ	吉川 雅之	2	A			
31M200-0701S	31D200-0701S	言語文化政策論Ⅱ	岩月 純一	2	S	水3	12-1233	
31M200-0701A	31D200-0701A	言語文化政策論Ⅱ	岩月 純一	2	A			
31M200-0711S	31D200-0711S	国際コミュニケーション演習Ⅰ	益 敏郎	2	S	月4	12-1226	
31M200-0711A	31D200-0711A	国際コミュニケーション演習Ⅰ	益 敏郎	2	A			
31M200-0720S	31D200-0720S	国際コミュニケーション演習Ⅱ	山崎 彩	2	S	火2	8-320	学部合併
31M200-0721A	31D200-0721A	国際コミュニケーション演習Ⅱ	山崎 彩	2	A			学部合併
31M200-0741S	31D200-0741S	国際コミュニケーション実験実習Ⅰ	李 佳梁	2	S	火4	10-203	
31M200-0910A	31D200-0910A	言語態理論Ⅰ	田尻 芳樹	2	A			
31M200-0930S	31D200-0930S	言語態分析Ⅰ	吉国 浩哉	2	S	水4	8-207	学部合併
31M200-0940S	31D200-0940S	言語態分析Ⅱ	諏訪部 浩一	2	S	金5	英文辞書室	人文社会系合併
31M200-0940A	31D200-0940A	言語態分析Ⅱ	諏訪部 浩一	2	A			人文社会系合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

言語情報科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M200-0970A	31D200-0970A	テクスト受容論 I	石原 あえか	2	A			学部合併
31M200-0971S	31D200-0971S	テクスト受容論 I	小林 宜子	2	S	金4	8-210	
31M200-0971A	31D200-0971A	テクスト受容論 I	小林 宜子	2	A			
31M200-0990S	31D200-0990S	メディア・コミュニケーション論 I	板津 木綿子	2	S	木2	福武ラーニングスタジオ3	学際情報学府合併
31M200-0990A	31D200-0990A	メディア・コミュニケーション論 I	板津 木綿子	2	A			学際情報学府合併
31M200-1011S	31D200-1011S	言語態分析演習 I	日向 太郎	2	S	月4	文学部3号館3707西洋古典学研究室	人文社会系合併
31M200-1011A	31D200-1011A	言語態分析演習 I	日向 太郎	2	A			人文社会系合併
31M200-1020S	31D200-1020S	言語態分析演習 II	郷原 佳以	2	S	火3	5-534	
31M200-1021S	31D200-1021S	言語態分析演習 II	逆井 聰人	2	S	水4	8-324	
31M200-1021A	31D200-1021A	言語態分析演習 II	逆井 聰人	2	A			
31M200-1030S	31D200-1030S	言語態分析演習 III	武田 将明	2	S	火2	11-1109	
31M200-1060S	31D200-1060S	言語態基礎論 I	谷本 道昭	2	S	木2	8-320	
31M200-1070A	31D200-1070A	言語態基礎論 II	山崎 彩	2	A			
31M200-1080A	31D200-1080A	言語態基礎論 III	武田 将明	2	A			
31M200-1090S	31D200-1090S	言語態基礎論 IV	青山 英正	2	S	火5	8-317	
31M200-1261S	31D200-1261S	外国語としての日本語教育 II	宇佐美 洋	2	S	月2	8-206	
31M200-1261A	31D200-1261A	外国語としての日本語教育 II	宇佐美 洋	2	A			
31M200-1310A	31D200-1310A	言語習得論演習 I	坪井 栄治郎	2	A			
31M200-1321S	31D200-1321S	言語習得論演習 II	西村 義樹	2	S	火5	法文1号館314教室	学部・人文社会系合併
31M200-1321A	31D200-1321A	言語習得論演習 II	西村 義樹	2	A			人文社会系合併
31M200-1350S	31D200-1350S	言語習得論演習 V	ローランド, ダグラス	2	S	金3	10-207	
31M200-1350A	31D200-1350A	言語習得論演習 V	ローランド, ダグラス	2	A			
31M200-1401S	31D200-1401S	日韓言語生態論 I	河崎 啓剛	2	S	水2	8-206	学部・人文社会系合併
31M200-1401A	31D200-1401A	日韓言語生態論 I	河崎 啓剛	2	A			
31M200-1410S	31D200-1410S	日韓言語生態論 II	三ツ井 崇	2	S	火5	8-320	学部・人文社会系合併
31M200-1420S	31D200-1420S	日韓コミュニケーション論 I	月脚 達彦	2	S	金5	8-113	人文社会系合併
31M200-1420A	31D200-1420A	日韓コミュニケーション論 I	月脚 達彦	2	A	金5		学部・人文社会系合併
	31D200-1510A	言語情報科学特別講義 I	カルティカ, ダイアナ	2	A			
31M200-1512A	31D200-1512A	言語情報科学特別講義 I	堀井 一摩	2	A			
31M200-1520S	31D200-1520S	言語情報科学特別講義 II	岸 まどか	2	S	集中		
31M200-1540S	31D200-1540S	言語情報科学特殊研究 I	本林 韶子	2	S	月4	11-1103	
31M200-1540A	31D200-1540A	言語情報科学特殊研究 I	本林 韶子	2	A			
31M200-1550A	31D200-1550A	言語情報科学特殊研究 II	本林 韶子	2	A			学部合併
31M200-1553S	31D200-1553S	言語情報科学特殊研究 II	峯松 信明	2	S	水2		人文社会系合併
31M200-1553A	31D200-1553A	言語情報科学特殊研究 II	峯松 信明	2	A			人文社会系合併
31M200-1560S	31D200-1560S	言語情報科学特殊研究 III	広瀬 友紀	2	S	金5	8-315	
31M200-1560A	31D200-1560A	言語情報科学特殊研究 III	広瀬 友紀	2	A			
31M200-1570A	31D200-1570A	言語情報科学特殊研究 IV	松本 和子	2	A			学部合併
31M200-1572S	31D200-1572S	言語情報科学特殊研究 IV	酒井 智宏	2	S	金3	8-317	学部合併
31M200-1572A	31D200-1572A	言語情報科学特殊研究 IV	酒井 智宏	2	A			学部合併
	31D200-1580S	言語情報科学特殊研究 V	小林 宜子 矢田 勉	2	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D200-1581A	言語情報科学特殊研究 V	小林 宜子 矢田 勉	2	A			ジョブ型インターンシップ科目

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

言語情報科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M200-1610S	31D200-1610S	言語情報科学特殊演習 I	三ツ井 崇	2	S	月3	8-320	学部合併
31M200-1630S	31D200-1630S	言語情報科学特殊演習 III	ヤン・シュトラースハイム	2	S	月3	8-113	学部合併
31M200-1640A	31D200-1640A	言語情報科学特殊演習 IV	未定	2	A			学部合併
31M200-1590S		言語情報科学演習 I	各教員	2	S			
31M200-1590A		言語情報科学演習 I	各教員	2	A			
31M200-1600S		言語情報科学演習 II	各教員	2	S			
31M200-1600A		言語情報科学演習 II	各教員	2	A			
	31D200-3010S	言語情報科学特別演習 I	各教員	2	S			
	31D200-3010A	言語情報科学特別演習 I	各教員	2	A			
	31D200-3020S	言語情報科学特別演習 II	各教員	2	S			
	31D200-3020A	言語情報科学特別演習 II	各教員	2	A			

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の論文指導科目「言語情報科学演習 I・II」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習 II は演習 I を4単位取得してから履修できるものとする。
3. 博士課程の論文指導科目「言語情報科学特別演習 I・II」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習 II は演習 I を4単位取得してから履修できるものとする。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

超域文化科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							

【表象文化論コース】

31M210-0011S	31D210-0011S	文化創造論 I	森元 康介	2	S	火5	8-323	
31M210-0011A	31D210-0011A	文化創造論 I	森元 康介	2	A			
31M210-0031S	31D210-0031S	文化制度論 I	三輪 健太朗	2	S	火3	8-323	
31M210-0031A	31D210-0031A	文化制度論 I	三輪 健太朗	2	A			
31M210-0041A	31D210-0041A	文化制度論 II	北田 晓大	2	A			学際情報学府合併
31M210-0050S	31D210-0050S	文化クリティシズム I	田中 純	2	S	金4	8-323	
31M210-0061S	31D210-0061S	文化クリティシズム II	桑田 光平	2	S	月5	18-メディアラボ1	
31M210-0061A	31D210-0061A	文化クリティシズム II	桑田 光平	2	A			
31M210-0071S	31D210-0071S	マルチメディア解析 I	中井 悠	2	S	月4	8-323	
31M210-0071A	31D210-0071A	マルチメディア解析 I	中井 悠	2	A			
31M210-0091S	31D210-0091S	伝統と創造 I	一條 麻美子	2	S	火2	21KOMCEE West K302	
31M210-0091A	31D210-0091A	伝統と創造 I	一條 麻美子	2	A			
31M210-0110S	31D210-0110S	文化ダイナミクス演習 I	清水 晶子	2	S	水5	18-メディアラボ2	
31M210-0120S	31D210-0120S	文化ダイナミクス演習 II	沖本 幸子	2	S	火5	14-603B	
31M210-0121A	31D210-0121A	文化ダイナミクス演習 II	沖本 幸子	2	A			
31M210-0130S	31D210-0130S	文化ダイナミクス演習 III	オディ, ジョン	2	S	水3	8-321	
31M210-0131A	31D210-0131A	文化ダイナミクス演習 III	オディ, ジョン	2	A			
31M210-0150S	31D210-0150S	文化ダイナミクス実験 II	星野 太	2	S	水2	8-209	
31M210-0151A	31D210-0151A	文化ダイナミクス実験 II	星野 太	2	A			
31M210-0210A	31D210-0210A	イメージ分析論 I	カペル, マチュー	2	A			
31M210-0241S	31D210-0241S	表象技術論 II	韓 燕麗	2	S	水5	18-メディアラボ1	
31M210-0241A	31D210-0241A	表象技術論 II	韓 燕麗	2	A			
31M210-0250S	31D210-0250S	表象文化史 I	竹峰 義和	2	S	金3	8-323	
31M210-0260A	31D210-0260A	表象文化史 II	竹峰 義和	2	A			
31M210-0271S	31D210-0271S	アート・マネージメント論 I	加治屋 健司	2	S	月3	5-515	
31M210-0271A	31D210-0271A	アート・マネージメント論 I	加治屋 健司	2	A			
31M210-0300S	31D210-0300S	パフォーミング・アーツ論 II	河合 祥一郎	2	S	金2	8-323	
31M210-0301A	31D210-0301A	パフォーミング・アーツ論 II	河合 祥一郎	2	A			
31M210-0311A	31D210-0311A	表象文化論演習 I	乗松 亨平	2	A			
31M210-0320A	31D210-0320A	表象文化論演習 II	中島 隆博	2	A			
31M210-0331S	31D210-0331S	表象文化論実験実習 I	朝倉 友海	2	S	水3	8-324	学部合併
31M210-0351S	31D210-0351S	表象文化論実験実習 III	針貝 真理子	2	S	水4	8-323	

【文化人類学コース】

31M210-4002S	31D210-4002S	文化構造論A	渡邊 日日	1	S2	月3	8-205	学部合併
31M210-4010A	31D210-4010A	文化構造論B	名和 克郎	1	A2			学部合併
31M210-4030S	31D210-4030S	文化認識論B	オオツキ, グラント ジュン	1	S1	月2	8-317	学部合併
31M210-4031A	31D210-4031A	文化認識論B	箭内 匡	1	A1			学部合併
31M210-4050S	31D210-4050S	民族社会論B	津田 浩司	1	S2	月2	8-317	学部合併
31M210-4060S	31D210-4060S	開発と文化A	閑谷 雄一	1	S1	木2	8-209	学部合併
31M210-4070S	31D210-4070S	開発と文化B	閑谷 雄一	1	S2	木2	8-209	学部合併
31M210-4080S	31D210-4080S	比較社会科学研究A	宮地 隆廣	1	S2	金2	12-1231	学部合併
31M210-4100S	31D210-4100S	社会構造論A	中村 沙絵	1	S1	火2	8-317	学部合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

超域文化科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M210-4120A	31D210-4120A	社会現象論A	藏本 龍介	1	A1			学部合併
31M210-4150A	31D210-4150A	民俗文化研究B	塚原 伸治	1	A1			学部合併
31M210-4180S	31D210-4180S	文化人類学特論I-A	酒井 朋子	1	S2	集中		学部合併
31M210-4190S	31D210-4190S	文化人類学特論I-B	比嘉 理麻	1	S2	集中		学部合併
31M210-4200S	31D210-4200S	文化人類学特論II-A	川瀬 由高	1	S2	金3	8-210	学部合併
31M210-4210S	31D210-4210S	文化人類学特論II-B	戸田 美佳子	1	S1	金2	8-209	学部合併
31M210-4220S	31D210-4220S	文化人類学特論III	嶺崎 寛子	2	S	月4	8-209	学部合併
31M210-4230A	31D210-4230A	文化人類学特論IV	閑谷 雄一	2	A	木2		学部合併
31M210-4231S	31D210-4231S	文化人類学特論IV	名和 克郎	2	S	水2	東文研304	学際情報学府合併
31M210-4300S	31D210-4300S	文化人類学演習I-A	藏本 龍介	1	S1	月3	8-205	学部合併
31M210-4301A	31D210-4301A	文化人類学演習I-A	津田 浩司	1	A1			学部合併
31M210-4302A	31D210-4302A	文化人類学演習I-A	中村 沙絵	1	A2			学部合併
31M210-4321S	31D210-4321S	文化人類学演習II-A	浜田 明範	1	S2	火3	8-321	学部合併
31M210-4330A	31D210-4330A	文化人類学演習II-B	浜田 明範	1	A2			学部合併
31M210-4340S	31D210-4340S	文化人類学演習III-A	丹羽 朋子	1	S2	金4	8-321	学部合併
31M210-4341S	31D210-4341S	文化人類学演習III-A	渡邊 日日	1	S1	金4	8-321	学部合併
31M210-4350S	31D210-4350S	文化人類学演習III-B	松前 もゆる	1	S2	火2	5-516	学部合併
31M210-0580S	31D210-0580S	文化人類学実験実習 I	渡邊 日日	2	S			
31M210-0581A	31D210-0581A	文化人類学実験実習 I	渡邊 日日	2	A			
31M210-0590S	31D210-0590S	文化人類学実験実習 II	渡邊 日日	2	S1			
31M210-0591S	31D210-0591S	文化人類学実験実習 II	渡邊 日日	2	S2			
31M210-0600A	31D210-0600A	文化人類学実験実習 III	渡邊 日日	2	A1			
31M210-0601A	31D210-0601A	文化人類学実験実習 III	渡邊 日日	2	A2			
31M210-4410A	31D210-4410A	比較民族誌演習B	渡邊 日日	1	A1			学部合併
31M210-4500S		文化人類学特別演習 I	各教員	2	S	水4	5-513	
	31D210-4500S	文化人類学特別演習 I	各教員	2	S	水5	5-513	
31M210-4501A		文化人類学特別演習 I	各教員	2	A	水4		
	31D210-4501A	文化人類学特別演習 I	各教員	2	A	水5		
	31D210-4510S	文化人類学特別演習 II	各教員	2	S	月5	8-324	
	31D210-4511A	文化人類学特別演習 II	各教員	2	A	月5		

【比較文学比較文化コース】

31M210-0720S	31D210-0720S	多元文化構造論 II	桑山 裕喜子	2	S	月5	1-117	
31M210-0720A	31D210-0720A	多元文化構造論 II	桑山 裕喜子	2	A			
31M210-0740S	31D210-0740S	多元文化協力論 II	谷口 洋	2	S	火4	14-603B	
31M210-0740A	31D210-0740A	多元文化協力論 II	谷口 洋	2	A			
31M210-0780S	31D210-0780S	神話と文化 II	梶谷 真司	2	S	木2	18-1107	
31M210-0780A	31D210-0780A	神話と文化 II	梶谷 真司	2	A			
31M210-0790S	31D210-0790S	比較モダニティ論 I	斎藤 渉	2	S	水5	8-320	
31M210-0790A	31D210-0790A	比較モダニティ論 I	斎藤 渉	2	A			
31M210-0820S	31D210-0820S	基層文化形成論 II	桜井 英治	2	S	月3	14-605	学部合併
31M210-0820A	31D210-0820A	基層文化形成論 II	桜井 英治	2	A			学部合併
31M210-0831S	31D210-0831S	文化コンプレクシティ演習 I	前島 志保	2	S	水2	8-319	学際情報学府合併
31M210-0831A	31D210-0831A	文化コンプレクシティ演習 I	前島 志保	2	A			

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

超域文化科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M210-0841S	31D210-0841S	文化コンプレクシティ演習Ⅱ	佐藤 光	2	S	火3	8-319	
31M210-0850A	31D210-0850A	文化コンプレクシティ演習Ⅲ	渡辺 美季	2	A			
31M210-0851S	31D210-0851S	文化コンプレクシティ演習Ⅲ	及川 茜	2	S	月2	8-320	
31M210-0851A	31D210-0851A	文化コンプレクシティ演習Ⅲ	及川 茜	2	A			
31M210-0861S	31D210-0861S	文化コンプレクシティ演習Ⅳ	徳盛 誠	2	S	金2	1-116	
31M210-0861A	31D210-0861A	文化コンプレクシティ演習Ⅳ	徳盛 誠	2	A			
31M210-0872S	31D210-0872S	文化コンプレクシティ演習Ⅴ	永井 久美子	2	S	月4	8-319	
31M210-0872A	31D210-0872A	文化コンプレクシティ演習Ⅴ	永井 久美子	2	A			
31M210-0881S	31D210-0881S	文化コンプレクシティ演習VI	田村 隆	2	S	水3	14-605	
31M210-0881A	31D210-0881A	文化コンプレクシティ演習VI	田村 隆	2	A			学部合併
31M210-0920S	31D210-0920S	比較詩学Ⅱ	齋藤 希史	2	S	金2	赤門総合研究棟 赤門738	文学部・人文社会系合併
31M210-0920A	31D210-0920A	比較詩学Ⅱ	齋藤 希史	2	A			
31M210-0931S	31D210-0931S	ジャンル交渉論Ⅰ	越懸澤 麻衣	2	S	金3	学際交流ホール	
31M210-0931A	31D210-0931A	ジャンル交渉論Ⅰ	越懸澤 麻衣	2	A			
31M210-0941S	31D210-0941S	ジャンル交渉論Ⅱ	ゴチエスキ, ヘルマン	2	S	水5	学際交流ホール	
31M210-0941A	31D210-0941A	ジャンル交渉論Ⅱ	ゴチエスキ, ヘルマン	2	A			
31M210-0981S	31D210-0981S	比較ナラトロジーⅡ	伊藤 徳也	2	S	水4	8-317	
31M210-0981A	31D210-0981A	比較ナラトロジーⅡ	伊藤 徳也	2	A			
31M210-1000A	31D210-1000A	比較思考分析Ⅱ	齋藤 幸平	2	A			
31M210-1021A	31D210-1021A	比較文学比較文化演習Ⅰ	佐々木 悠介	2	A			
31M210-1031S	31D210-1031S	比較文学比較文化演習Ⅱ	出口 智之	2	S	木2	14-605	
31M210-1031A	31D210-1031A	比較文学比較文化演習Ⅱ	出口 智之	2	A			
31M210-1040S	31D210-1040S	比較文学比較文化演習Ⅲ	松井 裕美	2	S	金4	8-319	
31M210-1040A	31D210-1040A	比較文学比較文化演習Ⅲ	松井 裕美	2	A			
31M210-1043S	31D210-1043S	比較文学比較文化演習Ⅲ	實谷 総一郎	2	S	水4	8-112	
31M210-1043A	31D210-1043A	比較文学比較文化演習Ⅲ	實谷 総一郎	2	A			
31M210-1051A	31D210-1051A	比較文学比較文化演習IV	寺田 寅彦	2	A			
31M210-1061S	31D210-1061S	比較文学比較文化演習V	國分 功一郎	2	S	金4	21KOMCEE East K114	学部合併
31M210-1061A	31D210-1061A	比較文学比較文化演習V	國分 功一郎	2	A			学部合併
31M210-1070S	31D210-1070S	比較文学比較文化演習VI	石原 剛	2	S	水3	8-418	
31M210-1070A	31D210-1070A	比較文学比較文化演習VI	石原 剛	2	A			

【超域文化科学専攻 共通】

31M210-1211A	31D210-1211A	超域文化科学特別講義Ⅰ	新ヶ江 章友	2	A	集中		学部合併
	31D210-1212A	超域文化科学特別講義Ⅰ	カルティカ, ダイアナ	2	A			
31M210-1213S	31D210-1213S	超域文化科学特別講義Ⅰ	塚原 伸治	2	S	火5	8-209	学部合併
31M210-1214S	31D210-1214S	超域文化科学特別講義Ⅰ	古莊 真敬	2	S	水4	8-205	学部合併
31M210-1214A	31D210-1214A	超域文化科学特別講義Ⅰ	古莊 真敬	2	A			
31M210-1215S	31D210-1215S	超域文化科学特別講義Ⅰ	森山 工	2	S	金5	8-324	
31M210-1221S	31D210-1221S	超域文化科学特別講義Ⅱ	衣笠 正晃	2	S	金3	11-1109	
31M210-1222A	31D210-1222A	超域文化科学特別講義Ⅱ	森山 工	2	A	金5		
31M210-1223S	31D210-1223S	超域文化科学特別講義Ⅱ	ブリッセ, クレール=碧子	2	S	集中	8-319	学部合併
31M210-1224S	31D210-1224S	超域文化科学特別講義Ⅱ	岡村 利恵	2	S	火2	1-117	
31M210-1225S	31D210-1225S	超域文化科学特別講義Ⅱ	吉岡 潤	2	S	木4	8-209	学部合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

超域文化科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
	31D210-1250S	超域文化科学特殊研究III	渡邊 日日	2	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D210-1251A	超域文化科学特殊研究III	渡邊 日日	2	A			ジョブ型インターンシップ科目
31M210-1280S		超域文化科学演習 I	各教員	2	S			
31M210-1280A		超域文化科学演習 I	各教員	2	A			
31M210-1290S		超域文化科学演習 II	各教員	2	S			
31M210-1290A		超域文化科学演習 II	各教員	2	A			
	31D210-3010S	超域文化科学特別演習 I	各教員	2	S			
	31D210-3010A	超域文化科学特別演習 I	各教員	2	A			
	31D210-3020S	超域文化科学特別演習 II	各教員	2	S			
	31D210-3020A	超域文化科学特別演習 II	各教員	2	A			

超域文化科学専攻

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の論文指導科目「超域文化科学演習 I・II」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習 II は演習 I を4単位取得してから履修できるものとする。
3. 博士課程の論文指導科目「超域文化科学特別演習 I・II」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習 II は演習 I を4単位取得してから履修できるものとする。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

地域文化研究専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M220-0022S	31D220-0022S	多元地域協力論 II	川島 真	2	S	火5	8-210	
31M220-0022A	31D220-0022A	多元地域協力論 II	川島 真	2	A	火4		
31M220-0032A	31D220-0032A	広域文明形成論 I	カルティカ, ダイアナ	2	A	月4		
31M220-0062S	31D220-0062S	文明技術遷移論 II	和田 肇	2	S	金5	8-320	
31M220-0062A	31D220-0062A	文明技術遷移論 II	和田 肇	2	A			
31M220-0072S	31D220-0072S	現代民族動態論 I	川喜田 敦子	2	S	水5	8-205	学部合併
31M220-0072A	31D220-0072A	現代民族動態論 I	川喜田 敦子	2	A	水5		
31M220-0092S	31D220-0092S	多地域文化横断論 I	中村 元哉	2	S	月3	8-210	
31M220-0092A	31D220-0092A	多地域文化横断論 I	中村 元哉	2	A	月4		
31M220-0102S	31D220-0102S	多地域文化横断論 II	張 政遠	2	S	水4	18-817	
31M220-0102A	31D220-0102A	多地域文化横断論 II	張 政遠	2	A	水4	18-817	
31M220-0112S	31D220-0112S	地域アイデンティティ複合 I	伊達 聖伸	2	S	月3	8-206	学部合併
31M220-0112A	31D220-0112A	地域アイデンティティ複合 I	伊達 聖伸	2	A			
31M220-0122S	31D220-0122S	地域アイデンティティ複合 II	森山 工	2	S	金5	8-324	
31M220-0122A	31D220-0122A	地域アイデンティティ複合 II	森山 工	2	A	金5		
31M220-0125S	31D220-0125S	地域アイデンティティ複合 II	中尾 沙季子	2	S	水2	12-1233	
31M220-0125A	31D220-0125A	地域アイデンティティ複合 II	中尾 沙季子	2	A			
31M220-0132S	31D220-0132S	多元世界解析演習 I	キハラハント 愛	2	S	水4	8-210	
31M220-0132A	31D220-0132A	多元世界解析演習 I	キハラハント 愛	2	A			
31M220-0135A	31D220-0135A	多元世界解析演習 I	高橋 史子	2	A			
31M220-0142A	31D220-0142A	多元世界解析演習 II	寺下 和宏	2	A			
31M220-0152S	31D220-0152S	多元世界解析演習 III	王 鈎	2	S	月5	8-205	
31M220-0152A	31D220-0152A	多元世界解析演習 III	王 鈎	2	A	月5		
31M220-0155S	31D220-0155S	多元世界解析演習 III	遠藤 貢	2	S	火4	12-1233	
31M220-0312S	31D220-0312S	ヨーロッパ地域システム I	西川 杉子	2	S	火2	1-120	
31M220-0312A	31D220-0312A	ヨーロッパ地域システム I	西川 杉子	2	A	火2		学部合併
31M220-0322S	31D220-0322S	ヨーロッパ地域システム II	森井 裕一	2	S	水3	8-110	
31M220-0322A	31D220-0322A	ヨーロッパ地域システム II	森井 裕一	2	A			
31M220-0342S	31D220-0342S	ロシア・東欧比較地域論 II	黛 秋津	2	S	水3	14-706	
31M220-0352S	31D220-0352S	西欧基層文化論 I	桑田 光平	2	S	月5	18-メディアラボ1	
31M220-0352A	31D220-0352A	西欧基層文化論 I	桑田 光平	2	A			
31M220-0362A	31D220-0362A	西欧基層文化論 II	三原 芳秋	2	A			
31M220-0372S	31D220-0372S	近代ヨーロッパ文化変容論 I	原 和之	2	S	水5	8-208	
31M220-0372A	31D220-0372A	近代ヨーロッパ文化変容論 I	原 和之	2	A	水5		
31M220-0375S	31D220-0375S	近代ヨーロッパ文化変容論 I	速水 淑子	2	S	火5	8-206	
31M220-0375A	31D220-0375A	近代ヨーロッパ文化変容論 I	速水 淑子	2	A	火5		
31M220-0382A	31D220-0382A	近代ヨーロッパ文化変容論 II	アルヴィ宮本なほ子	2	A			
31M220-0388S	31D220-0388S	近代ヨーロッパ文化変容論 II	三原 芳秋	2	S	水2	11-1103	
31M220-0392S	31D220-0392S	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習 I	浜田 華練	2	S	月5	8-206	
31M220-0392A	31D220-0392A	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習 I	浜田 華練	2	A			
31M220-0405A	31D220-0405A	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習 II	小川 浩之	2	A			学際情報学府合併
31M220-0412S	31D220-0412S	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習 III	藤岡 俊博	2	S	月4	5-534	
31M220-0412A	31D220-0412A	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習 III	藤岡 俊博	2	A			

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

地域文化研究専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M220-0522S	31D220-0522S	地中海文化干渉論Ⅱ	田中 創	2	S	火2	14-706	学部・人文社会系合併
31M220-0522A	31D220-0522A	地中海文化干渉論Ⅱ	田中 創	2	A	火2	14-706	学部・人文社会系合併
31M220-0532A	31D220-0532A	地中海文化構造論Ⅰ	藤崎 衛	2	A	火4		人文社会系合併
31M220-0542S	31D220-0542S	地中海文化構造論Ⅱ	村松 真理子	2	S	火5	1-116	学部合併
31M220-0542A	31D220-0542A	地中海文化構造論Ⅱ	村松 真理子	2	A	火5		学部合併
31M220-0552S	31D220-0552S	多民族文化接触論Ⅰ	棚瀬 あづさ	2	S	月2	8-321	
31M220-0562S	31D220-0562S	多民族文化接触論Ⅱ	金子 亜美	2	S	水2	1-119	
31M220-0562A	31D220-0562A	多民族文化接触論Ⅱ	金子 亜美	2	A			
31M220-0572S	31D220-0572S	イスラム比較地域論Ⅰ	大塚 修	2	S	月2	14-605	
31M220-0572A	31D220-0572A	イスラム比較地域論Ⅰ	大塚 修	2	A	月2	14-605	
31M220-0582S	31D220-0582S	イスラム比較地域論Ⅱ	苅谷 康太	2	S	金2	21KOMCEE East K213	学部合併
31M220-0582A	31D220-0582A	イスラム比較地域論Ⅱ	苅谷 康太	2	A	金2		学部合併
31M220-0592S	31D220-0592S	地中海・イスラム地域文化演習Ⅰ	鈴木 啓之	2	S	火2	8-210	学部合併
31M220-0592A	31D220-0592A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅰ	鈴木 啓之	2	A	火2		
31M220-0602S	31D220-0602S	地中海・イスラム地域文化演習Ⅱ	高橋 英海	2	S	水5	8-324	学部合併
31M220-0602A	31D220-0602A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅱ	高橋 英海	2	A	水5		
31M220-0612S	31D220-0612S	地中海・イスラム地域文化演習Ⅲ	渡邊 祥子	2	S	月4	東文研804	学部合併
31M220-0612A	31D220-0612A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅲ	渡邊 祥子	2	A	月4		
31M220-0622S	31D220-0622S	地中海・イスラム地域文化演習Ⅳ	秋葉 淳	2	S	金3	東文研3F第2会議室	
31M220-0622A	31D220-0622A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅳ	秋葉 淳	2	A	金3	東文研3F第2会議室	
31M220-0712S	31D220-0712S	現代アメリカ文明論Ⅰ	土屋 和代	2	S	火2	11-1103	
31M220-0712A	31D220-0712A	現代アメリカ文明論Ⅰ	土屋 和代	2	A			
31M220-0732S	31D220-0732S	中南米社会構造論Ⅰ	網野 徹哉	2	S	水4	8-322	
31M220-0732A	31D220-0732A	中南米社会構造論Ⅰ	網野 徹哉	2	A			
31M220-0762A	31D220-0762A	エスニシティ文化変容論Ⅱ	矢口 祐人	2	A			
31M220-0802S	31D220-0802S	北米・中南米地域文化演習Ⅰ	井上 博之	2	S	金2	8-320	
31M220-0802A	31D220-0802A	北米・中南米地域文化演習Ⅰ	井上 博之	2	A			学部合併
31M220-0812A	31D220-0812A	北米・中南米地域文化演習Ⅱ	上 英明	2	A			
31M220-0835S	31D220-0835S	北米・中南米地域文化演習Ⅳ	受田 宏之	2	S	水3	11-1103	
31M220-0835A	31D220-0835A	北米・中南米地域文化演習Ⅳ	受田 宏之	2	A			
31M220-0912S	31D220-0912S	アジア複合文化論Ⅰ	石井 剛	2	S	水5	EAAセミナー室(101-11号室)	学部・人文社会系合併
31M220-0915A	31D220-0915A	アジア複合文化論Ⅰ	ハチウス、ミハエル	2	A			
31M220-0922S	31D220-0922S	アジア複合文化論Ⅱ	谷垣 真理子	2	S	水2	11-1107	
31M220-0932S	31D220-0932S	多民族交錯論Ⅰ	杉山 清彦	2	S	火4	14-605	
31M220-0932A	31D220-0932A	多民族交錯論Ⅰ	杉山 清彦	2	A	火4		
31M220-0952S	31D220-0952S	アジア社会比較発展論Ⅰ	田原 史起	2	S	金4	8-320	
31M220-0952A	31D220-0952A	アジア社会比較発展論Ⅰ	田原 史起	2	A			
31M220-0962A	31D220-0962A	アジア社会比較発展論Ⅱ	有田 伸	2	A	水3	本郷社研308	人文社会系合併
31M220-0972S	31D220-0972S	アジア太平洋文化交流論Ⅰ	岡田 泰平	2	S	月5	14-605	
31M220-0972A	31D220-0972A	アジア太平洋文化交流論Ⅰ	岡田 泰平	2	A	月5	14-605	
31M220-0982S	31D220-0982S	アジア太平洋文化交流論Ⅱ	高山 大毅	2	S	月2	14-706	学部・人文社会系合併
31M220-0982A	31D220-0982A	アジア太平洋文化交流論Ⅱ	高山 大毅	2	A	月2		学部・人文社会系合併
31M220-0985S	31D220-0985S	アジア太平洋文化交流論Ⅱ	山口 輝臣	2	S	水4	14-605	人文社会系合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

地域文化研究専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M220-0992S	31D220-0992S	アジア太平洋地域文化演習Ⅰ	月脚 達彦	2	S	金5	8-113	人文社会系合併
31M220-0992A	31D220-0992A	アジア太平洋地域文化演習Ⅰ	月脚 達彦	2	A	金5		学部・人文社会系合併
31M220-0995S	31D220-0995S	アジア太平洋地域文化演習Ⅰ	岩月 純一	2	S	水3	12-1233	
31M220-0995A	31D220-0995A	アジア太平洋地域文化演習Ⅰ	岩月 純一	2	A			
31M220-1002S	31D220-1002S	アジア太平洋地域文化演習Ⅱ	松田 康博	2	S	水4	東文研3F第1会議室	学部・法学政治学合併
31M220-1002A	31D220-1002A	アジア太平洋地域文化演習Ⅱ	松田 康博	2	A	水2	東文研3F第1会議室	学部・法学政治学合併
31M220-1012S	31D220-1012S	アジア太平洋地域文化演習Ⅲ	阿古 智子	2	S	水3	11-1107	
31M220-1012A	31D220-1012A	アジア太平洋地域文化演習Ⅲ	阿古 智子	2	A			
31M220-1018S	31D220-1018S	アジア太平洋地域文化演習Ⅲ	三ツ井 崇	2	S	火5	8-320	学部・人文社会系合併
31M220-1022S	31D220-1022S	アジア太平洋地域文化演習Ⅳ	外村 大	2	S	金3	14-605	
31M220-1022A	31D220-1022A	アジア太平洋地域文化演習Ⅳ	外村 大	2	A	金3		
31M220-1025A	31D220-1025A	アジア太平洋地域文化演習Ⅳ	渡辺 美季	2	A	火2		
31M220-1112S	31D220-1112S	環インド洋文化交流論Ⅰ	井坂 理穂	2	S	火5	8-207	学部合併
31M220-1142S	31D220-1142S	通文化研究基礎論Ⅱ	菅 豊	2	S	水2		
31M220-1152A	31D220-1152A	環インド洋地域文化演習Ⅰ	ブラウン,トレント	2	A			学部合併
31M220-1222S	31D220-1222S	アメリカ太平洋基層文化論Ⅱ	平松 彩子	2	S	金2	1-117	
31M220-1222A	31D220-1222A	アメリカ太平洋基層文化論Ⅱ	平松 彩子	2	A			
31M220-1232S	31D220-1232S	アメリカ太平洋文化交流論Ⅰ	橋川 健竜	2	S	月4	11-1109	
31M220-1232A	31D220-1232A	アメリカ太平洋文化交流論Ⅰ	橋川 健竜	2	A			
31M220-1242S	31D220-1242S	アメリカ太平洋文化交流論Ⅱ	中野 耕太郎	2	S	火5	14-706	
31M220-1242A	31D220-1242A	アメリカ太平洋文化交流論Ⅱ	中野 耕太郎	2	A		14-706	
31M220-1255S	31D220-1255S	アメリカ太平洋地域文化演習Ⅰ	ヘイフリ,エヴァン	2	S	木4	8-210	
31M220-1262S	31D220-1262S	アメリカ太平洋地域文化演習Ⅱ	ネテルベック,アマンダ	2	S	水2	1-118	
31M220-1312S	31D220-1312S	地域文化研究特別講義Ⅰ	谷垣 真理子	2	S	水5	1-116	
31M220-1315A	31D220-1315A	地域文化研究特別講義Ⅰ	後藤 春美	2	A	火4		学部合併
	31D220-1332A	地域文化研究特殊研究Ⅰ	カルティカ,ダイアナ	2	A			
	31D220-1334S	地域文化研究特殊研究Ⅰ	岡田 泰平	2	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D220-1335A	地域文化研究特殊研究Ⅰ	岡田 泰平	2	A			ジョブ型インターンシップ科目
31M220-1342S	31D220-1342S	地域文化研究特殊研究Ⅱ	河原 ノリエ	2	S	火6	8-208	
31M220-1345S	31D220-1345S	地域文化研究特殊研究Ⅱ	金 志善	2	S	火3	8-324	学部合併
31M220-1345A	31D220-1345A	地域文化研究特殊研究Ⅱ	金 志善	2	A	火3		学部合併
31M220-1352A	31D220-1352A	地域文化研究特殊研究Ⅲ	バターウィック,リチャード	2	A	集中		学部合併
31M220-1355S	31D220-1355S	地域文化研究特殊研究Ⅲ	張 旭東	2	S	集中	EAAセミナー室(101-11号室)	学部合併
31M220-1358S	31D220-1358S	地域文化研究特殊研究Ⅲ	ペティグレー, ウィリアム	2	S	集中		学部合併
31M220-1362S	31D220-1362S	地域文化研究特殊研究Ⅳ	クーショ, エルヴェ	2	S	火2	8-112	学部合併
31M220-1365S	31D220-1365S	地域文化研究特殊研究Ⅳ	伊豆山 真理	2	S	月5	1-152	学部合併
31M220-1368S	31D220-1368S	地域文化研究特殊研究Ⅳ	吉岡 潤	2	S	木4	8-209	学部合併
31M220-1372S	31D220-1372S	地域文化研究特殊研究Ⅴ	朴 正鎮	2	S	月1	8-113	学部合併
31M220-1375S	31D220-1375S	地域文化研究特殊研究Ⅴ	宮下 雄一郎	2	S	木3	8-320	学部合併
31M220-1378A	31D220-1378A	地域文化研究特殊研究Ⅴ	河原 ノリエ	2	A	金6		
31M220-1382A	31D220-1382A	地域文化研究特殊研究VI	ベルアド, ク里斯	2	A			学部合併
31M220-1385A	31D220-1385A	地域文化研究特殊研究VI	小倉 智史	2	A			学部合併
31M220-1388A	31D220-1388A	地域文化研究特殊研究VI	難波 ちづる	2	A			学部合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

地域文化研究専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M220-1512A	31D220-1512A	地域文化研究特殊研究Ⅷ	中村 沙絵	1	A2			
31M220-1390S		地域文化研究演習 I	各教員	2	S			
31M220-1390A		地域文化研究演習 I	各教員	2	A			
31M220-1400S		地域文化研究演習 II	各教員	2	S			
31M220-1400A		地域文化研究演習 II	各教員	2	A			
	31D220-3010S	地域文化研究特別演習 I	各教員	2	S			
	31D220-3010A	地域文化研究特別演習 I	各教員	2	A			
	31D220-3020S	地域文化研究特別演習 II	各教員	2	S			
	31D220-3020A	地域文化研究特別演習 II	各教員	2	A			

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の論文指導科目「地域文化研究演習 I・II」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習 II は演習 I を4単位取得してから履修できるものとする。
3. 博士課程の論文指導科目「地域文化研究特別演習 I・II」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習 II は演習 I を4単位取得してから履修できるものとする。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○—○○○は、(号館) — (部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

国際社会科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M230-0011S	31D230-0011S	国際開発論 I	受田 宏之	2	S	水3	11-1103	
31M230-0012S	31D230-0012S	国際開発論 I	樋渡 雅人	2	S	金2	1-120	経済学合併
31M230-0021S	31D230-0021S	国際開発論 II	澤田 康幸	2	S2	月1・月3	国際学術総合研究棟515演習室	経済学・公共政策合併
31M230-0032S	31D230-0032S	国際交流論 I	遠藤 貢	2	S	火4	12-1233	
31M230-0040S	31D230-0040S	国際交流論 II	キハラハント 愛	2	S	水4	8-210	
31M230-0050A	31D230-0050A	国際経済協力論 I	竹野 太三	2	A			
31M230-0052S	31D230-0052S	国際経済協力論 I	清水 剛	2	S	水3	8-416	
31M230-0060S	31D230-0060S	国際経済協力論 II	岡地 迪尚	2	S	金3	11-1103	
31M230-0071S	31D230-0071S	国際社会統合論 I	森井 裕一	2	S	水3	8-110	
31M230-0081A	31D230-0081A	国際社会統合論 II	森井 裕一	2	A			
31M230-0082A	31D230-0082A	国際社会統合論 II	高橋 史子	2	A			
31M230-0130A	31D230-0130A	国際協力論演習 I	樋渡 雅人	2	A			
31M230-0132A	31D230-0132A	国際協力論演習 I	受田 宏之	2	A			
31M230-0141A	31D230-0141A	国際協力論演習 II	小川 浩之	2	A			学際情報学府合併
31M230-0142A	31D230-0142A	国際協力論演習 II	閑谷 雄一	2	A			学部合併
31M230-0143S	31D230-0143S	国際協力論演習 II	竹野 太三	2	S	水4	1-118	
31M230-0145A	31D230-0145A	国際協力論演習 II	森山 工	2	A			
31M230-0150A	31D230-0150A	国際協力論実験実習 I	藤井 広重	2	A			
31M230-0161A	31D230-0161A	国際協力論実験実習 II	キハラハント 愛	2	A			
31M230-0162A	31D230-0162A	国際協力論実験実習 II	清水 剛	2	A			
31M230-0170S	31D230-0170S	国際協力論実験実習 III	森山 工	2	S	金5	8-324	
31M230-0171A	31D230-0171A	国際協力論実験実習 III	岡地 迪尚	2	A			
31M230-0310S	31D230-0310S	国際関係史 I	川島 真	2	S	火5	8-210	
31M230-0321A	31D230-0321A	国際関係史 II	前田 亮介	2	A			
31M230-0330S	31D230-0330S	国際政治経済論 I	石田 淳	2	S	金2	8-208	
31M230-0340S	31D230-0340S	国際政治経済論 II	湯川 拓	2	S	月2	8-322	
31M230-0341S	31D230-0341S	国際政治経済論 II	吉本 郁	2	S	月5	2-303	
31M230-0350S	31D230-0350S	国際関係法 I	北村 朋史	2	S	水5	11-1109	法学政治学合併
31M230-0351S	31D230-0351S	国際関係法 I	小粥 太郎	2	S	水3	21KOMCEE West K402	
31M230-0352S	31D230-0352S	国際関係法 I	西村 弓	2	S	金2	5-516	
31M230-0361A	31D230-0361A	国際関係法 II	北村 朋史	2	A			
31M230-0370S	31D230-0370S	国際社会動態論 I	伊藤 武	2	S1	金3・金4	法文1号館A3 演習室	学部・法学政治学合併
31M230-0371A	31D230-0371A	国際社会動態論 I	中井 遼	2	A			学部合併
31M230-0390S	31D230-0390S	世界システム論 I	阪本 拓人	2	S	月4	8-210	
31M230-0410S	31D230-0410S	比較現代政治 I	和田 肇	2	S	金5	8-320	
31M230-0412A	31D230-0412A	比較現代政治 I	東島 雅昌	2	A			学部・法学政治学合併
31M230-0420A	31D230-0420A	比較現代政治 II	和田 肇	2	A			
31M230-0422A	31D230-0422A	比較現代政治 II	マッケルウェイン, ケネス	2	A	火3	法文1号館19番教室	法学部・法学政治学・公共政策・学際情報学府合併
31M230-0431S	31D230-0431S	国際関係論演習 I	前田 亮介	2	S	金2	1-115	
31M230-0432A	31D230-0432A	国際関係論演習 I	川島 真	2	A			
31M230-0440S		国際関係論演習 II	藤澤 巍	2	S	火5	1-118	学部合併
31M230-0442A	31D230-0442A	国際関係論演習 II	小粥 太郎	2	A	水3		学部合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

国際社会科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M230-0450S	31D230-0450S	国際関係論演習III	伊藤 武	2	S2	金3・金4	法文1号館A3 演習室	法学政治学合併
31M230-0451S	31D230-0451S	国際関係論演習III	森 肇志	2	S	火2	法文1号館B1 演習室	法学政治学合併
31M230-0452A	31D230-0452A	国際関係論演習III	西村 弓	2	A			法学政治学合併
31M230-0460A	31D230-0460A	国際関係論実験実習 I	石田 淳	2	A			法学政治学合併
31M230-0461A	31D230-0461A	国際関係論実験実習 I	吉本 郁	2	A			
31M230-0462A	31D230-0462A	国際関係論実験実習 I	湯川 拓	2	A			
31M230-0470A	31D230-0470A	国際関係論実験実習 II	阪本 拓人	2	A			学部合併
31M230-0471A		国際関係論実験実習 II	西村 弓	2	A			学部合併
31M230-0610S	31D230-0610S	日本政治分析 I	内山 融	2	S	火4	8-110	法学政治学合併
31M230-0620S	31D230-0620S	日本政治分析 II	加藤 淳子	2	S	水5	法学政治学系 総合教育棟 304	法学政治学・公共政策 合併
31M230-0621S	31D230-0621S	日本政治分析 II	鹿毛 利枝子	2	S	金3	21KOMCEE East K213	学部・法学政治学合併
31M230-0650S	31D230-0650S	公共哲学 I	井上 彰	2	S	水5	1-115	
31M230-0660S	31D230-0660S	公共哲学 II	山本 芳久	2	S	火2	8-110	学部合併
31M230-0681S	31D230-0681S	現代法政策論 II	福岡 安都子	2	S	金4	1-153	学部合併
31M230-0700A	31D230-0700A	コミュニティ形成論 II	瀬地山 角	2	A			
31M230-0710A	31D230-0710A	公共政策論演習 I	山本 芳久	2	A			学部合併
31M230-0711A	31D230-0711A	公共政策論演習 I	井上 彰	2	A			
31M230-0730A	31D230-0730A	公共政策論実験実習 I	鹿毛 利枝子	2	A			学部合併
31M230-0740A	31D230-0740A	公共政策論実験実習 II	内山 融	2	A			学部合併
31M230-0742S	31D230-0742S	公共政策論実験実習 II	瀬地山 角	2	S	月5	5-518	
31M230-0750S	31D230-0750S	公共政策論実験実習 III	橋本 摂子	2	S	火4	11-1107	
31M230-0910S	31D230-0910S	現代社会論 I	小山 裕	2	S	火3	11-1103	
31M230-0920A	31D230-0920A	現代社会論 II	高見 典和	2	A			
31M230-0941S	31D230-0941S	情報技術環境論 II	佐藤 俊樹	2	S	水5	11-1103	
31M230-0950A	31D230-0950A	計量社会科学 I	藤原 翔	2	A			
31M230-0960S	31D230-0960S	計量社会科学 II	倉田 博史	2	S	火5	5-518	
31M230-0970S	31D230-0970S	比較社会論 I	阿古 智子	2	S	水3	11-1107	
31M230-0971A	31D230-0971A	比較社会論 I	市野川 容孝	2	A			
31M230-0990S	31D230-0990S	社会制度変動論 I	馬路 智仁	2	S	金3	21KOMCEE East K14	学部合併
31M230-1010A	31D230-1010A	相関社会科学演習 I	橋本 摂子	2	A	火4		
31M230-1011S	31D230-1011S	相関社会科学演習 I	高見 典和	2	S	火5	8-205	
31M230-1020A	31D230-1020A	相関社会科学演習 II	小山 裕	2	A			
31M230-1021A	31D230-1021A	相関社会科学演習 II	阿古 智子	2	A			
31M230-1022S	31D230-1022S	相関社会科学演習 II	市野川 容孝	2	S	月2	11-1109	
31M230-1041A	31D230-1041A	相関社会科学実験実習 I	佐藤 俊樹	2	A			
31M230-1042S	31D230-1042S	相関社会科学実験実習 I	橋本 摂子	2	S	火2	5-517	学部合併
31M230-1042A	31D230-1042A	相関社会科学実験実習 I	市野川 容孝	2	A	集中		
31M230-1043S	31D230-1043S	相関社会科学実験実習 I	河合 玲一郎	2	S1	水5	11-1105	学部合併
31M230-1044S	31D230-1044S	相関社会科学実験実習 I	河合 玲一郎	2	S2	水5	11-1105	学部合併
31M230-1050S	31D230-1050S	相関社会科学実験実習 II	市野川 容孝	2	S	集中		
31M230-1051A	31D230-1051A	相関社会科学実験実習 II	倉田 博史	2	A			経済学合併
31M230-1052S	31D230-1052S	相関社会科学実験実習 II	佐藤 俊樹	2	S	集中		

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

国際社会科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M230-1052A	31D230-1052A	相関社会科学実験実習Ⅱ	佐藤 俊樹	2	A			
31M230-1053A	31D230-1053A	相関社会科学実験実習Ⅱ	橋本 摂子	2	A	水4		学部合併
31M230-1112S	31D230-1112S	国際社会科学特別講義Ⅰ	イスラモフ、バティヨル	2	S	集中		
31M230-1113S	31D230-1113S	国際社会科学特別講義Ⅰ	フマガリ、コラド	2	S	集中		学部合併
31M230-1120S	31D230-1120S	国際社会科学特別講義Ⅱ	鈴木 早苗	2	S	金3	21KOMCEE East K212	学部合併
31M230-1121A	31D230-1121A	国際社会科学特別講義Ⅱ	勝又 裕斗	2	A	金3	法文1号館B2 演習室	法学政治学合併
31M230-1122A	31D230-1122A	国際社会科学特別講義Ⅱ	傅 凱儀	2	A			
31M230-1133A	31D230-1133A	国際社会科学特別講義Ⅲ	黒崎 将広	2	A	火4		学部合併
31M230-1141A	31D230-1141A	国際社会科学特別講義Ⅳ	榎本 珠良	2	A			学部合併
31M230-1142S	31D230-1142S	国際社会科学特別講義Ⅳ	長 有紀枝	2	S	木2	11-1105	
31M230-1143S	31D230-1143S	国際社会科学特別講義Ⅳ	宮崎 成人	2	S	水4	21KOMCEE East K213	学部合併
31M230-1144A	31D230-1144A	国際社会科学特別講義Ⅳ	玉井 隆	2	A			学部合併
31M230-1145A	31D230-1145A	国際社会科学特別講義Ⅳ	小川 啓一	2	A			学部合併
31M230-1146A	31D230-1146A	国際社会科学特別講義Ⅳ	未定	2	A			学部合併
31M230-1151T	31D230-1151T	国際社会科学特殊研究Ⅰ	コース主任	4	T			
31M230-1152T	31D230-1152T	国際社会科学特殊研究Ⅰ	コース主任	4	T			
31M230-1161T	31D230-1161T	国際社会科学特殊研究Ⅱ	コース主任	4	T			
31M230-1172S	31D230-1172S	国際社会科学特殊研究Ⅲ	橋本 摂子	2	S	火2	5-517	学部合併
31M230-1172A	31D230-1172A	国際社会科学特殊研究Ⅲ	橋本 摂子	2	A	集中		学部合併
31M230-1182S		国際社会科学特殊研究Ⅳ	小山 裕	2	S	金2	11-1109	学部合併
31M230-1183S		国際社会科学特殊研究Ⅳ	内山 融	2	S	金4	11-1103	学部合併
31M230-1186S		国際社会科学特殊研究Ⅳ	馬路 智仁	2	S	金3	21KOMCEE East K114	学部合併
31M230-1210A	31D230-1210A	国際社会科学特殊研究Ⅴ	石田 淳	4	A			学部合併
31M230-1211S	31D230-1211S	国際社会科学特殊研究Ⅴ	北村 朋史	4	S	月5・水3	8-210	学部合併
31M230-1212A	31D230-1212A	国際社会科学特殊研究Ⅴ	岡地 迪尚	4	A			学部合併
31M230-1190S		国際社会科学演習Ⅰ	各教員	2	S			
31M230-1190A		国際社会科学演習Ⅰ	各教員	2	A			
31M230-1200S		国際社会科学演習Ⅱ	各教員	2	S			
31M230-1200A		国際社会科学演習Ⅱ	各教員	2	A			
	31D230-2010S	国際社会科学特別研究	西村 弓	2	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D230-2010A	国際社会科学特別研究	西村 弓	2	A			ジョブ型インターンシップ科目
	31D230-3010S	国際社会科学特別演習I	各教員	2	S			
	31D230-3010A	国際社会科学特別演習I	各教員	2	A			
	31D230-3020S	国際社会科学特別演習II	各教員	2	S			
	31D230-3020A	国際社会科学特別演習II	各教員	2	A			

- 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
- 修士課程の論文指導科目「国際社会科学演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
- 博士課程の論文指導科目「国際社会科学特別演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
- 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
- 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(生命環境科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M281-0030S	31D281-0030S	環境適応機構論 I	塙間 敬	2	S	集中		
31M281-0040A	31D281-0040A	環境適応機構論 II	阿部 光知	2	A			学部合併
31M281-0041A	31D281-0041A	環境適応機構論 II	岡田 由紀	2	A			
31M281-0070T	31D281-0070T	環境応答論演習 I	加納 純子	2	T	水2	16-107	
31M281-0080T	31D281-0080T	環境応答論演習 II	塙間 敬	2	T	金3		
31M281-0081T	31D281-0081T	環境応答論演習 II	阿部 光知	2	T	火3	15-316	
31M281-0090T	31D281-0090T	環境応答論演習 III	若杉 桂輔	2	T	水1・水2	3-114	
31M281-0211A	31D281-0211A	情報分子構造論 I	吉本 敬太郎	2	A			学部合併
31M281-0220S	31D281-0220S	情報分子構造論 II	市橋 伯一	2	S	月3	3-113	学部合併
31M281-0240S	31D281-0240S	情報伝達機構論 II	谷崎 祐太	2	S	集中		
31M281-0280S	31D281-0280S	細胞ダイナミクス論 II	長谷部 政治	2	S	水2	3-113	学部合併
31M281-0291T	31D281-0291T	生命情報学演習 I	市橋 伯一	2	T	月2		
31M281-0293T	31D281-0293T	生命情報学演習 I	吉本 敬太郎	2	T	月1		
31M281-0301T	31D281-0301T	生命情報学演習 II	谷崎 祐太	2	T			
31M281-0302T	31D281-0302T	生命情報学演習 II	矢島 潤一郎	2	T	月1		
31M281-0310T	31D281-0310T	生命情報学演習 III	太田 邦史	2	T	金2		
31M281-0312T	31D281-0312T	生命情報学演習 III	白髪 克彦	2	T	月2	定量研総合研究棟B104	
31M281-0320T	31D281-0320T	生命情報学演習 IV	坪井 貴司	2	T	水2	3-116	夏学期から受講すること
31M281-0321T	31D281-0321T	生命情報学演習 IV	長谷部 政治	2	T			
31M281-0410S	31D281-0410S	生体構造ダイナミクス論 I	新井 宗仁	2	S	月5	16-119/129	学部合併
31M281-0420A	31D281-0420A	生体構造ダイナミクス論 II	北西 卓磨	2	A	木1		
31M281-0440S	31D281-0440S	生体高次機構論 II	佐藤 健	2	S	金3		学部合併
31M281-0470A	31D281-0470A	生命機能論 I	佐藤 守俊	2	A			学部合併
31M281-0480S	31D281-0480S	生命機能論 II	道上 達男	2	S	集中		
31M281-0481A	31D281-0481A	生命機能論 II	野本 貴大	2	A			
31M281-0490T	31D281-0490T	生命機能論演習 I	新井 宗仁	2	T	火2	16-624	
31M281-0491T	31D281-0491T	生命機能論演習 I	北西 卓磨	2	T	木2	3-114	
31M281-0492T	31D281-0492T	生命機能論演習 I	道上 達男	2	T	金3		
31M281-0501T	31D281-0501T	生命機能論演習 II	佐藤 健	2	T	月1・月2	16-721	
31M281-0502T	31D281-0502T	生命機能論演習 II	林 勇樹	2	T	金2	アドラボ203(1)	
31M281-0510T	31D281-0510T	生命機能論演習 III	佐藤 守俊	2	T	土1・土2		
31M281-0511T	31D281-0511T	生命機能論演習 III	竹内 昌治	2	T	火3		
31M281-0512T	31D281-0512T	生命機能論演習 III	野本 貴大	2	T	月1	3-202A	
31M281-0520T	31D281-0520T	生命機能論演習 IV	末次 憲之	2	T	水2	15-309A	
31M281-0610S	31D281-0610S	運動エネルギー論 I	今井 一博	2	S	火3	3-116	
31M281-0620S	31D281-0620S	運動エネルギー論 II	福井 尚志	2	S	月3	16-109	学部合併
31M281-0630A	31D281-0630A	運動機能論 I	柳原 大	2	A			学部合併
31M281-0660A	31D281-0660A	生体動作制御学 II	久保 啓太郎	2	A			
31M281-0670S	31D281-0670S	運動適応科学演習 I	今井 一博	2	S	木3	3-116	
31M281-0671A	31D281-0671A	運動適応科学演習 I	福井 尚志	2	A			
31M281-0680S	31D281-0680S	運動適応科学演習 II	柳原 大	2	S	火1	9-102	
31M281-0681A	31D281-0681A	運動適応科学演習 II	寺田 新	2	A			
31M281-0690A	31D281-0690A	運動適応科学演習 III	竹下 大介	2	A			

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(生命環境科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M281-0691S	31D281-0691S	運動適応科学演習III	久保 啓太郎	2	S	月1	9-102	
31M281-0700A	31D281-0700A	運動適応科学演習IV	高橋 祐美子	2	A			
31M281-0810S	31D281-0810S	基礎行動学 I	中澤 公孝	2	S	金5		シラバスを確認すること
31M281-0830A	31D281-0830A	認知機構論 I	本吉 勇	2	A	月4		学部合併
31M281-0840S	31D281-0840S	認知機構論 II	四本 裕子	2	S	月4	16-126/127	学部合併
31M281-0850S	31D281-0850S	比較行動学 I	工藤 和俊	2	S	水2	9-102	学際情報学府合併
31M281-0851S	31D281-0851S	比較行動学 I	香田 啓貴	2	S	月3	16-126/127	学部合併
31M281-0871A	31D281-0871A	行動適応論 I	佐々木 一茂	2	A			
31M281-0890A	31D281-0890A	認知行動科学	石垣 琢磨	2	A			
31M281-0900T	31D281-0900T	認知行動科学演習 I	本吉 勇	2	T			
31M281-0901S	31D281-0901S	認知行動科学演習 I	佐々木 一茂	2	S	月4	21KOMCEE West K101	
31M281-0902T	31D281-0902T	認知行動科学演習 I	吉岡 伸輔	2	T	月4	9-102	夏学期から受講すること
31M281-0911T	31D281-0911T	認知行動科学演習 II	香田 啓貴	2	T	金3	3-215	
31M281-0912T	31D281-0912T	認知行動科学演習 II	四本 裕子	2	T	木1	2-101	
31M281-0913T	31D281-0913T	認知行動科学演習 II	石垣 琢磨	2	T	木1	2-109	
31M281-0914T	31D281-0914T	認知行動科学演習 II	小池 進介	2	T	金3	17-1732	
31M281-0915T	31D281-0915T	認知行動科学演習 II	中村 優子	2	T	金1	17-1733	
31M281-0920T	31D281-0920T	認知行動科学演習 III	工藤 和俊	2	T	水4	9-102	
31M281-0921S	31D281-0921S	認知行動科学演習 III	中澤 公孝 寺田 新	2	S	集中	9-102	学部合併
31M281-0922T	31D281-0922T	認知行動科学演習 III	竹下 大介	2	T	火5	3-113	身体運動グループ以外の履修希望者は担当教員に連絡すること
31M281-0923A	31D281-0923A	認知行動科学演習 III	佐々木 一茂	2	A	集中		4月中旬にガイダンス実施予定
31M281-1021S	31D281-1021S	生命環境科学特別講義 II	木村 幸太郎	2	S	集中		学部合併
31M281-1031A	31D281-1031A	生命環境科学特別講義 III	石川 光彦	2	A			学部合併
31M281-1040S	31D281-1040S	生命環境科学特別講義 IV	皆川 泰代	2	S	集中		学部合併
31M281-1050S	31D281-1050S	生命環境科学特別講義 V	中村 涉	2	S	集中		学部合併
31M281-1070S	31D281-1070S	生命環境科学特別講義 VII	木村 晓	2	S	集中		学部合併
31M281-1100A	31D281-1100A	生命環境科学特殊講義 II	矢島 潤一郎	2	A			
31M281-1110A	31D281-1110A	生命環境科学特殊講義 III	寺田 新	2	A			
31M281-1111A	31D281-1111A	生命環境科学特殊講義 III	竹下 大介	2	A			
31M281-1121S	31D281-1121S	生命環境科学特殊講義 IV	吉岡 伸輔	2	S	月3	9-102	
31M281-1131A	31D281-1131A	生命環境科学特殊講義 V	高橋 祐美子	2	A			
31M281-1140A	31D281-1140A	生命環境科学特殊講義 VI	白髭克彦・大杉美穂・岡田由紀	2	A	集中		
31M281-1150A	31D281-1150A	生命環境科学特殊講義 VII	伊藤 啓	2	A	集中		
31M281-1241S	31D281-1241S	生命環境科学特別講義 X	藤井 慶輔	2	S	集中		学部合併
31M281-1250S	31D281-1250S	生命環境科学特別講義 XI	福井 尚志	2	S			学部合併 Sセメスターの運動エネルギー論 IIを履修すること
31M281-1170S		生命環境科学特殊研究 I	各教員	4	S			修士1年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M281-1170A		生命環境科学特殊研究 I	各教員	4	A			
31M281-1180S		生命環境科学特殊研究 II	各教員	4	S			修士1年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M281-1180A		生命環境科学特殊研究 II	各教員	4	A			
31M281-1190S		生命環境科学特殊研究 III	各教員	4	S			修士2年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M281-1190A		生命環境科学特殊研究 III	各教員	4	A			

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(生命環境科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M281-1200S		生命環境科学特殊研究IV	各教員	4	S			修士2年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M281-1200A		生命環境科学特殊研究IV	各教員	4	A			
31M281-1210S		生命環境科学演習 I	各教員	1	S			修士1年・必修
31M281-1210A		生命環境科学演習 I	各教員	1	A			修士1年・必修
31M281-1220S		生命環境科学演習 II	各教員	1	S			修士2年・必修
31M281-1220A		生命環境科学演習 II	各教員	1	A			修士2年・必修
	31D281-1340S	生命環境科学特別講義 X IV	矢島 潤一郎	2	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D281-1340A	生命環境科学特別講義 X IV	矢島 潤一郎	2	A			ジョブ型インターンシップ科目
	31D281-1380S	生命環境科学特別講義 X VIII	矢島 潤一郎	1	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D281-1380A	生命環境科学特別講義 X VIII	矢島 潤一郎	1	A			ジョブ型インターンシップ科目
	31D281-2010S	広域科学特別研究 I	各教員	2	S			博士1年・必修
	31D281-2010A	広域科学特別研究 I	各教員	2	A			博士1年・必修
	31D281-2020S	広域科学特別研究 II	各教員	2	S			博士2年・必修
	31D281-2020A	広域科学特別研究 II	各教員	2	A			博士2年・必修
	31D281-2030S	広域科学特別研究 III	各教員	2	S			博士3年・必修
	31D281-2030A	広域科学特別研究 III	各教員	2	A			博士3年・必修
	31D281-3010S	広域科学特別演習 I	各教員	1	S			博士1年・必修
	31D281-3010A	広域科学特別演習 I	各教員	1	A			博士1年・必修
	31D281-3020S	広域科学特別演習 II	各教員	1	S			博士2年・必修
	31D281-3020A	広域科学特別演習 II	各教員	1	A			博士2年・必修
	31D281-3030S	広域科学特別演習 III	各教員	1	S			博士3年・必修
	31D281-3030A	広域科学特別演習 III	各教員	1	A			博士3年・必修

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の「生命環境科学特殊研究 I ~ IV」の計16単位、「生命環境科学演習 I・II」の計4単位は必修科目なので必ず履修すること。
履修にあたっては、以下の点に留意すること。
 - (1) 生命環境科学特殊研究は I から IV、生命環境科学演習は I・II の番号順に履修すること。
 - (2) 各セメスターにつき履修登録できるのは、生命環境科学特殊研究、生命環境科学演習それぞれ1科目のみである。
3. 博士課程の「広域科学特別研究 I ~ III」の計12単位、「広域科学特別演習 I ~ III」の計6単位は必修科目なので必ず履修すること。
履修にあたっては、以下の点に留意すること。
 - (1) 広域科学特別研究、広域科学特別演習ともに I ~ III の番号順に履修すること。
 - (2) 各セメスターにつき履修登録できるのは、広域科学特別研究、広域科学特別演習それぞれ1科目のみである。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○ー○○○は、(号館)ー(部屋番号)を表す。
6. 生命環境科学特別講義 I ~ XVIII のうち担当教員が異なる場合は同一科目の重複履修を認める。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(広域システム科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M282-0020A	31D282-0020A	システム理論Ⅱ	松島 慎	2	A			学部合併
31M282-0030A	31D282-0030A	離散系システム論Ⅰ	館 知宏	2	A			学部合併
31M282-0040A	31D282-0040A	離散系システム論Ⅱ	森畠 明昌	2	A			学部合併
31M282-0050A	31D282-0050A	非線形システム論Ⅰ	諏訪 雄大	2	A			学部合併
31M282-0060S	31D282-0060S	非線形システム論Ⅱ	成田 憲保	2	S	月5	15-104	学部合併
31M282-0070A	31D282-0070A	自然システム論Ⅰ	齋藤 晴雄	2	A			
31M282-0080A	31D282-0080A	自然システム論Ⅱ	池上 高志	2	A			学部合併
31M282-0090S	31D282-0090S	基礎システム学輪講Ⅰ	鈴木 建	1	S	-		学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0100A	31D282-0100A	基礎システム学輪講Ⅱ	鈴木 建	1	A			学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0110S	31D282-0110S	基礎システム学輪講Ⅲ	諏訪 雄大	1	S	-		学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0120A	31D282-0120A	基礎システム学輪講Ⅳ	諏訪 雄大	1	A			学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0130S	31D282-0130S	基礎システム学輪講Ⅴ	鈴木 建	1	S	-		学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0140A	31D282-0140A	基礎システム学輪講Ⅵ	鈴木 建	1	A			学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0150S	31D282-0150S	基礎システム学輪講Ⅶ	金井 崇・金子 知適・森畠 明昌・山口 泰・品川 高廣	1	S	-		
31M282-0160A	31D282-0160A	基礎システム学輪講Ⅷ	金井 崇・金子 知適・森畠 明昌・山口 泰・品川 高廣	1	A			
31M282-0170S	31D282-0170S	基礎システム学輪講Ⅸ	成田 憲保 福井 晓彦	1	S	-		学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0180A	31D282-0180A	基礎システム学輪講Ⅹ	成田 憲保 福井 晓彦	1	A			学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0220S	31D282-0220S	計算機構論Ⅱ	森畠 明昌	2	S	月3	15-106	
31M282-0230A	31D282-0230A	情報組織論Ⅰ	金子 知適	2	A			
31M282-0260S	31D282-0260S	応用情報論Ⅰ	福永 アレックス	2	S	金4	12-1222	学部合併
31M282-0270A	31D282-0270A	応用情報論Ⅱ	開 一夫	2	A			学部合併
31M282-0320A	31D282-0320A	情報システム学輪講Ⅳ	金子 知適	1	A			学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0330S	31D282-0330S	情報システム学輪講Ⅴ	松島 慎	1	S	-		学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0340A	31D282-0340A	情報システム学輪講Ⅵ	松島 慎	1	A			学部合併、要履修申込(詳細はUTAS参照)
31M282-0420A	31D282-0420A	地球変遷論Ⅱ	黒川 宏之	2	A			
31M282-0430A	31D282-0430A	生物社会学Ⅰ	池田 啓	2	A			
31M282-0450A	31D282-0450A	生態システム論Ⅰ	増田 建	2	A			学部合併
31M282-0460S	31D282-0460S	生態システム論Ⅱ	土畠 重人	2	S	月2	15-104	学部合併
31M282-0470A	31D282-0470A	物質エネルギー循環論Ⅰ	苔蕉 寂樹	2	A			学部合併
31M282-0490S	31D282-0490S	自然体系学輪講Ⅰ	黒川 宏之	1	S	-		
31M282-0500A	31D282-0500A	自然体系学輪講Ⅱ	黒川 宏之	1	A			
31M282-0550S	31D282-0550S	自然体系学輪講Ⅶ	小宮 剛	1	S	-		
31M282-0560A	31D282-0560A	自然体系学輪講Ⅷ	小宮 剛	1	A			
31M282-0610S	31D282-0610S	人間環境論Ⅰ	梶田 真	2	S	水3	2-202	
31M282-0640S	31D282-0640S	人間環境論Ⅳ	永田 淳嗣	2	S	火3	2-202	
31M282-0650A	31D282-0650A	環境計画論Ⅰ	鎌倉 夏来	2	A			
31M282-0670A	31D282-0670A	環境計画論Ⅲ	小田 隆史	2	A			
31M282-0710A	31D282-0710A	空間計画論Ⅱ	横山 ゆりか	2	A			

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(広域システム科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M282-0730S	31D282-0730S	科学技術計画論Ⅱ	館 知宏	2	S	金3	15-104	学部合併
31M282-0780S	31D282-0780S	複合系計画学輪講Ⅴ	植田 一博	1	S	-		
31M282-0790A	31D282-0790A	複合系計画学輪講Ⅵ	植田 一博	1	A			
31M282-0800S	31D282-0800S	複合系計画学輪講Ⅶ	館 知宏	1	S	-		学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0900A	31D282-0900A	複合系計画学輪講Ⅷ	館 知宏	1	A			学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0810A	31D282-0810A	広域システム科学特別講義Ⅰ	佐竹 晓子	1	A	集中		
31M282-0820S	31D282-0820S	広域システム科学特別講義Ⅱ	茂木 健一郎	2	S	火3	12-1225	
31M282-0830S	31D282-0830S	広域システム科学特別講義Ⅲ	今井 倫太	1	S	集中		学部合併
31M282-0840S	31D282-0840S	広域システム科学特別講義Ⅳ	石川 亮佑	1	S	集中		学部合併
31M282-0910A	31D282-0910A	広域システム科学特別講義Ⅴ	上田 元	1	A	集中		
31M282-0870A	31D282-0870A	広域システム科学特殊講義Ⅲ	福井 晓彦	2	A			学部合併
31M282-0880A	31D282-0880A	広域システム科学特殊講義Ⅳ	大泉 匡史	2	A			学部合併
31M282-0890S	31D282-0890S	広域システム科学特殊講義Ⅴ	久徳 浩太郎	1	S	集中		
	31D282-0891S	広域システム科学特殊講義Ⅴ	大泉 匡史	1	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D282-0891A	広域システム科学特殊講義Ⅴ	大泉 匡史	1	A			ジョブ型インターンシップ科目
31M282-1010S		広域システム科学特殊演習Ⅰ	各教員	1	S			修士1年・必修
31M282-1010A		広域システム科学特殊演習Ⅰ	各教員	1	A			修士1年・必修
31M282-1020S		広域システム科学特殊演習Ⅱ	各教員	1	S			修士2年・必修
31M282-1020A		広域システム科学特殊演習Ⅱ	各教員	1	A			修士2年・必修
31M282-1030S		広域システム科学特殊研究Ⅰ	各教員	2	S			修士1年・必修
31M282-1030A		広域システム科学特殊研究Ⅰ	各教員	2	A			修士1年・必修
31M282-1040S		広域システム科学特殊研究Ⅱ	各教員	2	S			修士2年・必修
31M282-1040A		広域システム科学特殊研究Ⅱ	各教員	2	A			修士2年・必修
	31D282-2010S	広域科学特別研究Ⅰ	各教員	2	S			修士1年・必修
	31D282-2010A	広域科学特別研究Ⅰ	各教員	2	A			修士1年・必修
	31D282-2020S	広域科学特別研究Ⅱ	各教員	2	S			修士2年・必修
	31D282-2020A	広域科学特別研究Ⅱ	各教員	2	A			修士2年・必修
	31D282-2030S	広域科学特別研究Ⅲ	各教員	2	S			修士3年・必修
	31D282-2030A	広域科学特別研究Ⅲ	各教員	2	A			修士3年・必修
	31D282-3010S	広域科学特別演習Ⅰ	各教員	1	S			修士1年・必修
	31D282-3010A	広域科学特別演習Ⅰ	各教員	1	A			修士1年・必修
	31D282-3020S	広域科学特別演習Ⅱ	各教員	1	S			修士2年・必修
	31D282-3020A	広域科学特別演習Ⅱ	各教員	1	A			修士2年・必修
	31D282-3030S	広域科学特別演習Ⅲ	各教員	1	S			修士3年・必修
	31D282-3030A	広域科学特別演習Ⅲ	各教員	1	A			修士3年・必修

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(広域システム科学系)

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の「広域システム科学特殊演習Ⅰ・Ⅱ」の計4単位、「広域システム科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ」の計8単位は必修科目なので必ず履修すること。履修にあたっては、以下の点に留意すること。
 - (1) 広域システム科学特殊演習、広域システム科学特殊研究ともにⅠ・Ⅱの番号順に履修すること。
 - (2) 各セメスターにつき履修登録できるのは、広域システム科学特殊演習、広域システム科学特殊研究それぞれ1科目のみである。
- 例)4月入学者は、1年次Sセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、次のAセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、2年次各セメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅱ」と「広域システム科学特殊研究Ⅱ」を履修登録する。
- 例)10月入学者は、1年次Aセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、次のSセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、2年次各セメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅱ」と「広域システム科学特殊研究Ⅱ」を履修登録する。
3. 博士課程の「広域科学特別研究Ⅰ～Ⅲ」の計12単位、「広域科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の計6単位は必修科目なので必ず履修すること。履修にあたっては、以下の点に留意すること。
 - (1) 広域科学特別研究、広域科学特別演習ともにⅠ～Ⅲの番号順に履修すること。
 - (2) 各セメスターにつき履修登録できるのは、広域科学特別研究、広域科学特別演習それぞれ1科目のみである。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(相関基礎科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M283-0016S	31D283-0016S	科学史 I	鈴木 晃仁	2	S	金4	法文1号館117 教室	人文社会系合併
31M283-0038S	31D283-0038S	科学史III	岡本 拓司	2	S	火2	14-308	
31M283-0047A	31D283-0047A	科学史IV	三村 太郎	2	A			
31M283-0060A	31D283-0060A	科学技術思想 II	岡本 拓司	2	A			
31M283-0077S	31D283-0077S	科学技術思想III	三村 太郎	2	S	水4	14-308	
31M283-0086A	31D283-0086A	科学技術思想IV	鈴木 晃仁	2	A			人文社会系合併
31M283-0099S	31D283-0099S	科学哲学 I	鈴木 貴之	2	S	金2	16-827	
31M283-0108S	31D283-0108S	科学哲学 II	藤川 直也	2	S	月3	14-710	
31M283-0118A	31D283-0118A	科学哲学III	オディイ, ジヨン	2	A			
31M283-0128A	31D283-0128A	科学哲学IV	石原 孝二	2	A			
31M283-0139A	31D283-0139A	科学技術基礎論 I	鈴木 貴之	2	A			
31M283-0140A	31D283-0140A	科学技術基礎論 II	藤川 直也	2	A			
31M283-0159S	31D283-0159S	科学技術基礎論III	オディイ, ジヨン	2	S	水3	8-321	
31M283-0169S	31D283-0169S	科学技術基礎論IV	石原 孝二	2	S	月2	14-708	
31M283-0210S	31D283-0210S	場の量子論 I	野海 俊文	2	S	火2	16-827	
31M283-0220A	31D283-0220A	場の量子論 II	今村 洋介	2	A			理学系合併
31M283-0960S		量子力学G I	大川 祐司	2	S	金4	16-119/129	学部合併
31M283-0970A	31D283-0970A	量子力学G II	岸根 順一郎	2	A			学部合併
31M283-0260S	31D283-0260S	カオスの物理	石原 秀至	2	S	月3	16-827	学部合併
31M283-0950S	31D283-0950S	多体系の理論	加藤 雄介	2	S	水3	16-827	
31M283-1460S	31D283-1460S	情報と計算の物理特論	今泉 允聰	2	S	木5	16-119/129	学部合併
31M283-0370A	31D283-0370A	凝縮系の物性 I	橋高 俊一郎	2	A			学部合併
31M283-0420A	31D283-0420A	応用計測学 I	松田 恭幸	2	A			
31M283-0430A	31D283-0430A	応用計測学 II	酒井 邦嘉	2	A			学部合併
31M283-0460S	31D283-0460S	原子物理学 I	鳥井 寿夫	2	S	水4	16-827	
31M283-0480S	31D283-0480S	分子科学基礎論	奥野 将成 小林 広和	2	S	木2	16-827	
31M283-0540S	31D283-0540S	分子動力学 I	青木 優 羽馬 哲也	2	S	月2	16-827	
31M283-0570A	31D283-0570A	分子機能学 II	内田 さやか 豊田 太郎	2	A			
31M283-0850S	31D283-0850S	環境安全学	中島 正和	2	S	集中	16-827	
31M283-1920S	31D283-1920S	生命の物理学特論 II	澤井 哲	2	S	水2	16-827	
31M283-1111S	31D283-1111S	相関基礎科学特別講義 I	鈴木 晃仁	2	S	火4	法文1号館217 教室	学部・人文社会系合併
31M283-1128A	31D283-1128A	相関基礎科学特別講義 II	鈴木 晃仁	2	A			学部・人文社会系合併
	31D283-1500S	相関基礎科学特別講義 V	鳥井 寿夫	2	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D283-1500A	相関基礎科学特別講義 V	鳥井 寿夫	2	A			ジョブ型インターンシップ科目
31M283-1137S	31D283-1137S	相関基礎科学特殊講義 I	山田 俊弘	2	S	木2	8-210	学部合併
31M283-1146A	31D283-1146A	相関基礎科学特殊講義 II	鈴木 生郎	2	A			学部合併
31M283-1157A	31D283-1157A	相関基礎科学特殊講義 III	宮原 克典	2	A	集中		
31M283-1167S	31D283-1167S	相関基礎科学特殊講義 IV	村瀬 天出夫	2	S	木3	14-308	
31M283-1177A	31D283-1177A	相関基礎科学特殊講義 V	酒井 一博	2	A	集中		
31M283-1187A	31D283-1187A	相関基礎科学特殊講義 VI	森 貴司	2	A	集中		学部合併
31M283-1196A	31D283-1196A	相関基礎科学特殊講義 VII	畠山 多加志	2	A	集中		
31M283-1207S	31D283-1207S	相関基礎科学特殊講義 VIII	酒井 志朗	2	S	集中		学部合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(相関基礎科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M283-1217S	31D283-1217S	相関基礎科学特殊講義IX	中川 賢一	2	S	集中		学部合併
31M283-1227S	31D283-1227S	相関基礎科学特殊講義X	長谷川 健	2	S	集中		学部合併
31M283-1237A	31D283-1237A	相関基礎科学特殊講義X I	近藤 美欧	2	A	集中		学部合併
31M283-1246S	31D283-1246S	相関基礎科学特殊講義X II	大槻 久	2	S	集中		学部合併
	31D283-1440S	相関基礎科学特殊講義HV	鳥井 寿夫	1	S			ジョブ型インターンシップ科目
	31D283-1440A	相関基礎科学特殊講義HV	鳥井 寿夫	1	A			ジョブ型インターンシップ科目
31M283-1250S		相関基礎科学特殊研究 I	各教員	2	S			修士1年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M283-1250A		相関基礎科学特殊研究 I	各教員	2	A			修士1年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M283-1260S		相関基礎科学特殊研究 II	各教員	2	S			修士2年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M283-1260A		相関基礎科学特殊研究 II	各教員	2	A			修士2年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M283-1270S		相関基礎科学特殊研究 III	各教員	2	S			修士2年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M283-1270A		相関基礎科学特殊研究 III	各教員	2	A			修士2年・必修 いずれかのセメスターで1度履修すること
31M283-1280S		相関基礎科学特殊研究 IV	各教員	2	S			修士1年・必修 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1280A		相関基礎科学特殊研究 IV	各教員	2	A			修士1年・必修 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1610S		相関基礎科学特殊演習 I	各教員	2	S			修士1年 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1610A		相関基礎科学特殊演習 I	各教員	2	A			修士1年 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1620S		相関基礎科学特殊演習 II	各教員	2	S			修士2年 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1620A		相関基礎科学特殊演習 II	各教員	2	A			修士2年 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1630S		相関基礎科学特殊演習 III	各教員	2	S			修士2年 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1630A		相関基礎科学特殊演習 III	各教員	2	A			修士2年 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1640S		相関基礎科学特殊演習 IV	各教員	2	S			修士1年・必修 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1640A		相関基礎科学特殊演習 IV	各教員	2	A			修士1年・必修 (Aグループ以外のグループでは必修、いずれかのセメスターで1度履修すること)
31M283-1310S		相関基礎科学演習 I	各教員	2	S			修士1年・必修 S&Aのうちの修士1年次の2番目のセメスターで1度登録すること
31M283-1310A		相関基礎科学演習 I	各教員	2	A			修士2年・必修 S&Aのうちの割り当てられたセメスターで1度登録すること
31M283-1320S		相関基礎科学演習 II	各教員	2	S			修士2年・必修 S&Aのうちの割り当てられたセメスターで1度登録すること
31M283-1320A		相関基礎科学演習 II	各教員	2	A			修士3年・必修
	31D283-2010S	広域科学特別研究 I	各教員	2	S			修士1年・必修
	31D283-2010A	広域科学特別研究 I	各教員	2	A			修士1年・必修
	31D283-2020S	広域科学特別研究 II	各教員	2	S			修士2年・必修
	31D283-2020A	広域科学特別研究 II	各教員	2	A			修士2年・必修
	31D283-2030S	広域科学特別研究 III	各教員	2	S			修士3年・必修
	31D283-2030A	広域科学特別研究 III	各教員	2	A			修士3年・必修
	31D283-3010S	広域科学特別演習 I	各教員	1	S			博士1年(Aグループ以外のグループでは必修)
	31D283-3010A	広域科学特別演習 I	各教員	1	A			博士1年(Aグループ以外のグループでは必修)
	31D283-3020S	広域科学特別演習 II	各教員	1	S			博士2年(Aグループ以外のグループでは必修)
	31D283-3020A	広域科学特別演習 II	各教員	1	A			博士2年(Aグループ以外のグループでは必修)
	31D283-3030S	広域科学特別演習 III	各教員	1	S			博士3年(Aグループ以外のグループでは必修)
	31D283-3030A	広域科学特別演習 III	各教員	1	A			博士3年(Aグループ以外のグループでは必修)

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(相関基礎科学系)

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の「相関基礎科学特殊研究Ⅰ～Ⅳ」の計8単位、「相関基礎科学演習Ⅰ・Ⅱ」の計4単位は必修科目なので必ず履修すること。
また、「相関基礎科学特殊演習Ⅰ～Ⅳ」の計8単位は科学技術基礎論大講座(Aグループ)以外では必ず履修すること。(「相関基礎科学特殊演習」は科学技術基礎論大講座では開講されない。)なお、上記科目の履修に際しては、以下に留意すること。
 - ・「相関基礎科学特殊研究Ⅱ」は、「同研究Ⅰ」の単位を取得した者のみ履修可。「相関基礎科学特殊演習Ⅱ」は、「同演習Ⅰ」の単位を取得した者のみ履修可。
 - ・「相関基礎科学特殊研究Ⅲ」は、「同研究Ⅱ」の単位を取得した者のみ履修可。「相関基礎科学特殊演習Ⅲ」は、「同演習Ⅱ」の単位を取得した者のみ履修可。
 - ・「相関基礎科学特殊研究Ⅳ」は、「同研究Ⅲ」の単位を取得した者のみ履修可。「相関基礎科学特殊演習Ⅳ」は、「同演習Ⅲ」の単位を取得した者のみ履修可。
 - ・「相関基礎科学演習Ⅰ・Ⅱ」の予定、割り当てなどについては相関基礎科学系の掲示板等で確認すること。
3. 博士後期課程の「広域科学特別研究Ⅰ～Ⅲ」の計12単位は必修科目なので必ず履修すること。また、「広域科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の計6単位は科学技術基礎論大講座(Aグループ)以外では必ず履修すること。(「広域科学特別演習」は科学技術基礎論大講座では開講されない。)
「広域科学特別研究」「広域科学特別演習」は、1つの科目名につき2つのセメスターを使って履修する。よって、1つの科目名につき、それぞれのセメスターで1度ずつ、計2度履修することとなる。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○—○○○は、(号館)—(部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

「人間の安全保障」プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M290-0010S	31D290-0010S	人間の安全保障基礎論Ⅰ	阪本 拓人	2	S	月3	8-317	
31M290-0020A	31D290-0020A	人間の安全保障基礎論Ⅱ	吉国 浩哉	2	A			
31M290-0030S	31D290-0030S	紛争と和解・共生Ⅰ	黛 秋津	2	S	水2	14-605	
31M290-0031S	31D290-0031S	紛争と和解・共生Ⅰ	平松 彩子	2	S	金2	1-117	
31M290-0040S	31D290-0040S	紛争と和解・共生Ⅱ	遠藤 貢	2	S	火3	12-1233	
31M290-0050A	31D290-0050A	平和プロセスと国際協力Ⅰ	遠藤 貢	2	A	月3		学部合併
31M290-0400A	31D290-0400A	難民と移民Ⅰ	山本 哲史	2	A	木5		
31M290-0410S	31D290-0410S	難民と移民Ⅱ	高橋 史子	2	S	火2	18-メディアラボ2	教育学合併
31M290-0420A	31D290-0420A	統治と規範Ⅰ	阪本 拓人	2	A	金3		
31M290-0430A	31D290-0430A	統治と規範Ⅱ	榎本 珠良	2	A	金2		
31M290-0060S	31D290-0060S	平和プロセスと国際協力Ⅱ	長 有紀枝	2	S	木2	11-1105	
31M290-0070S	31D290-0070S	文化エコロジーⅠ	吉国 浩哉	2	S	水4	8-207	学部合併
31M290-0081S	31D290-0081S	文化エコロジーⅡ	三ツ井 崇	2	S	月3	8-320	学部合併
31M290-0440S	31D290-0440S	多様性と普遍性Ⅰ	キハラハント 愛	2	S	水4	8-210	
31M290-0450S	31D290-0450S	多様性と普遍性Ⅱ	谷垣 真理子	2	S	水5	1-116	
31M290-0460A	31D290-0460A	国家・市民社会・企業Ⅰ	平松 彩子	2	A	金2		学部合併
31M290-0090S	31D290-0090S	社会の自立と共同Ⅰ	森山 工	2	S	金5	8-324	
31M290-0091S	31D290-0091S	社会の自立と共同Ⅰ	伊達 聖伸	2	S	月3	8-206	学部合併
31M290-0101A	31D290-0101A	社会の自立と共同Ⅱ	斎藤 渉	2	A			
31M290-0110S	31D290-0110S	生命と尊厳Ⅰ	星野 太	2	S	水2	8-209	
31M290-0120A	31D290-0120A	生命と尊厳Ⅱ	早尾 貴紀	2	A	月4		
31M290-0130S	31D290-0130S	開発と貧困Ⅰ	樋渡 雅人	2	S	金2	1-120	経済学合併
31M290-0142S	31D290-0142S	開発と貧困Ⅱ	受田 宏之	2	S	水3	11-1103	
31M290-0150S	31D290-0150S	生存とライフスキルⅠ	関谷 雄一	2	S	木2	8-209	学部合併
31M290-0151A	31D290-0151A	生存とライフスキルⅠ	玉井 隆	2	A	金3		
31M290-0160A	31D290-0160A	生存とライフスキルⅡ	瀬地山 角	2	A			
31M290-0161S	31D290-0161S	生存とライフスキルⅡ	佐藤 俊樹	2	S	水5	11-1103	
31M290-0170A	31D290-0170A	サステナビリティの戦略Ⅰ	齋藤 幸平	2	A			
31M290-0172A	31D290-0172A	サステナビリティの戦略Ⅰ	北村 友人	2	A1	月3・月4		教育学・新領域創成科学合併
31M290-0180A	31D290-0180A	サステナビリティの戦略Ⅱ	永田 淳嗣	2	A	月4		
31M290-0181S	31D290-0181S	サステナビリティの戦略Ⅱ	鎌目 雅	2	S	集中		公共政策合併
31M290-0350S	31D290-0350S	サステナビリティの戦略Ⅲ	宮地 隆廣	1	S2	金2	12-1231	学部合併
31M290-0190S	31D290-0190S	人間の安全保障演習Ⅰ	田村 隆	2	S	水3	14-605	
31M290-0190A	31D290-0190A	人間の安全保障演習Ⅰ	田村 隆	2	A			
31M290-0193A	31D290-0193A	人間の安全保障演習Ⅰ	小川 浩之	2	A			学際情報学府合併
31M290-0200S	31D290-0200S	人間の安全保障演習Ⅱ	ダルグリーシュ、 ブレガム	2	S	火1	学際情報学府 本館7階演習 室1	学際情報学府合併
31M290-0201A	31D290-0201A	人間の安全保障演習Ⅱ	西村 弓	2	A			法学政治学合併
31M290-0203S	31D290-0203S	人間の安全保障演習Ⅱ	北村 朋史	2	S	水5	11-1109	法学政治学合併
31M290-0204S	31D290-0204S	人間の安全保障演習Ⅱ	石田 淳	2	S	金2	8-208	
31M290-0205S	31D290-0205S	人間の安全保障演習Ⅱ	イスラモフ、 バフティヨル	2	S	集中		
31M290-0214S	31D290-0214S	人間の安全保障演習Ⅲ	黛 秋津	2	S	水3	14-706	
31M290-0223A	31D290-0223A	人間の安全保障演習Ⅳ	森山 工	2	A	金5		

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

「人間の安全保障」プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M290-0224A	31D290-0224A	人間の安全保障演習IV	関谷 雄一	2	A	金5		
31M290-0225A	31D290-0225A	人間の安全保障演習IV	佐藤 俊樹	2	A	水5		
31M290-0226S	31D290-0226S	人間の安全保障演習IV	市野川 容孝	2	S	月2	11-1109	
31M290-0226A	31D290-0226A	人間の安全保障演習IV	市野川 容孝	2	A			
31M290-0230A	31D290-0230A	人間の安全保障演習V	岡本 拓司	2	A	水2	14-308	
31M290-0233S	31D290-0233S	人間の安全保障演習V	阪本 拓人	2	S	月4	8-210	
31M290-0235A	31D290-0235A	人間の安全保障演習V	石原 孝二	2	A			
31M290-0240S	31D290-0240S	人間の安全保障演習VI	樋渡 雅人	2	S	金2	1-120	経済学合併
31M290-0242S	31D290-0242S	人間の安全保障演習VI	田原 史起	2	S	金4	8-320	
31M290-0246A	31D290-0246A	人間の安全保障演習VI	受田 宏之	2	A			
31M290-0250A	31D290-0250A	人間の安全保障演習VII	高橋 史子	2	A			学部合併
31M290-0252A	31D290-0252A	人間の安全保障演習VII	佐藤 仁	2	A	水5		新領域創成科学合併
31M290-0254A	31D290-0254A	人間の安全保障演習VII	傅 凱儀	2	A			
31M290-0261S	31D290-0261S	人間の安全保障演習VIII	永田 淳嗣	2	S	火3	2-202	
31M290-0263S	31D290-0263S	人間の安全保障演習VIII	藤垣 裕子	2	S	水3	11-1105	学部合併
31M290-0360S	31D290-0360S	人間の安全保障演習IX	北村 朋史	4	S	月5・水3	8-210	学部合併
31M290-0370A	31D290-0370A	人間の安全保障演習X	キハラハント 愛	2	A	木2		
31M290-0272S	31D290-0272S	人間の安全保障実習実習 I	関谷 雄一	2	S	集中		
31M290-0273A	31D290-0273A	人間の安全保障実習実習 I	関谷 雄一	2	A	集中		
31M290-0282S	31D290-0282S	人間の安全保障実習実習 II	関谷 雄一	2	S	集中		
31M290-0300A	31D290-0300A	人間の安全保障実習実習IV	阪本 拓人	2	A	金4		学部合併

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○ー○○○は、(号館)ー(部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

欧洲研究プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M310-5010S		現代欧洲研究の方法	速水 淑子	2	S	金5	8-206	
31M310-5021A		欧洲統合史	鈴木 一人	2	A			公共政策合併
31M310-5034S		欧洲政治論	板橋 拓己	2	S	月5	法文1号館B3 演習室	法学部・法学政治学合併
31M310-5035A		欧洲政治論	板橋 拓己	2	A	金5	法文1号館A3 演習室	法学部・法学政治学合併
31M310-5037S		欧洲政治論	川崎 聰史	2	S	木4	8-321	学部合併
31M310-5044S		EU法	Wouter Devroe	2	S	集中		法学部・法学政治学合併
31M310-5051S		欧洲公共秩序思想	斎藤 渉	2	S	水5	8-320	
31M310-5051A		欧洲公共秩序思想	斎藤 渉	2	A			
31M310-5062S		現代ドイツ基層論	平松 英人	2	S	金4	8-206	学部合併
31M310-5062A		現代ドイツ基層論	平松 英人	2	A			
31M310-5071S		グローバルガバナンスと欧洲統合	森井 裕一	2	S	水3	8-110	
31M310-5081S		欧洲地域平和システム論	川喜田 敦子	2	S	水5	8-205	学部合併
31M310-5111S		欧洲現代思想	藤岡 俊博	2	S	月4	5-534	
31M310-5120S		欧洲研究演習 I	川喜田 敦子・ 速水 淑子・平松 英人	2	S			
31M310-5130A		欧洲研究演習 II	川喜田 敦子・ 速水 淑子・平松 英人	2	A			
31M310-5141S		欧洲研究特別研究 I	源河 達史	2	S	金3	法文1号館A1 演習室	法学政治学合併
31M310-5141A		欧洲研究特別研究 I	源河 達史	2	A	金3		法学政治学合併
31M310-5152S		欧洲研究特別研究 II	山本 浩司	2	S	月4	国際学術総合 研究棟314演 習室	経済学合併
31M310-5161A		欧洲研究特別研究 III	小川 浩之	2	A			
31M310-5171S		欧洲研究特別研究 IV	伊藤 武	2	S1	金3・4	法文1号館A3 演習室	学部・法学政治学合併
31M310-5172S		欧洲研究特別研究 IV	伊藤 武	2	S2	金3・4	法文1号館A3 演習室	法学政治学合併
31M310-5174A		欧洲研究特別研究 IV	中山 洋平	2	A	月5	法文1号館A2 演習室	法学部・法学政治学合併
31M310-5181S		欧洲研究特別研究 V	竹峰 義和	2	S	金3	8-323	
31M310-5181A		欧洲研究特別研究 V	竹峰 義和	2	A			
31M310-5184S		欧洲研究特別研究 V	速水 淑子	2	S	火5	8-206	
31M310-5184A		欧洲研究特別研究 V	速水 淑子	2	A			
31M310-5187A		欧洲研究特別研究 V	金 慧	2	A			学部合併
31M310-5191S		欧洲研究特別研究 VI	北村 陽子	2	S	水2	法文1号館210 教室	人文社会系合併
31M310-5191A		欧洲研究特別研究 VI	北村 陽子	2	A	水2		人文社会系合併
31M310-5214S		欧洲研究特別研究 VII	小野寺 拓也	2	S	月4	8-317	学部合併
31M310-5215A		欧洲研究特別研究 VII	Jared Sonnicksen	2	A			学部合併
31M310-5216A		欧洲研究特別研究 VII	森 芳樹	2	A			学部合併
31M310-5220S		欧洲研究実験実習 I	川喜田 敦子・ 速水 淑子・平松 英人	2	S			
31M310-5230A		欧洲研究実験実習 II	川喜田 敦子・ 速水 淑子・平松 英人	2	A			
31M310-5240S		欧洲研究実験実習 III	川喜田 敦子・ 速水 淑子・平松 英人	2	S			プログラム学生のみ
31M310-5250A		欧洲研究実験実習 IV	川喜田 敦子・ 速水 淑子・平松 英人	2	A			プログラム学生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 博士課程の学生の履修は認められないで注意すること。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

多文化共生・統合人間学プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31D370-0100S	31D370-0100S	多文化共生・統合人間学講義 I	梶谷 真司	2	S	月4	12-1211	
31D370-0120S	31D370-0120S	多文化共生・統合人間学講義III	梶谷 真司	2	S	水5	8-206	
31D370-0130S	31D370-0130S	多文化共生・統合人間学講義IV	岡村 利恵	2	S	火2	1-117	
31D370-0140S	31D370-0140S	多文化共生・統合人間学講義V	Christopher D. Hammond	2	S	水2	8-112	学部合併
31D370-0142A	31D370-0142A	多文化共生・統合人間学講義V	Christopher D. Hammond	2	A			
31D370-0152A	31D370-0152A	多文化共生・統合人間学講義VI	アンダル, ジャクリーン	2	A			
31D370-0160A	31D370-0160A	多文化共生・統合人間学講義VII	梶谷 真司	2	A			
31D370-0170S	31D370-0170S	多文化共生・統合人間学講義VIII	各教員	2	S			
31D370-0170A	31D370-0170A	多文化共生・統合人間学講義VIII	各教員	2	A			
31D370-0200A	31D370-0200A	多文化共生・統合人間学演習 I	田尻 芳樹	2	A			
31D370-0203S	31D370-0203S	多文化共生・統合人間学演習 I	逆井 聰人	2	S	水4	8-324	
31D370-0204A	31D370-0204A	多文化共生・統合人間学演習 I	関谷 雄一	2	A			
31D370-0211S	31D370-0211S	多文化共生・統合人間学演習 II	外村 大	2	S	金3	14-605	
31D370-0221A	31D370-0221A	多文化共生・統合人間学演習 III	石原 孝二	2	A			
31D370-0223A	31D370-0223A	多文化共生・統合人間学演習 III	松本 和子	2	A			
31D370-0232A	31D370-0232A	多文化共生・統合人間学演習 IV	丹羽 美之	2	A			学際情報学府合併
31D370-0240S	31D370-0240S	多文化共生・統合人間学演習 V	梶谷 真司	2	S	水2	21KOMCEE East K214	学部合併
31D370-0250S	31D370-0250S	多文化共生・統合人間学演習 VI	石原 孝二	2	S	月2	14-708	
31D370-0251S	31D370-0251S	多文化共生・統合人間学演習 VI	岡本 拓司	2	S	火2	14-308	
31D370-0252A	31D370-0252A	多文化共生・統合人間学演習 VI	岡本 拓司	2	A			
31D370-0261A	31D370-0261A	多文化共生・統合人間学演習 VII	前島 志保	2	A			
31D370-0270A	31D370-0270A	多文化共生・統合人間学演習 VIII	梶谷 真司	2	A			
31D370-0271S	31D370-0271S	多文化共生・統合人間学演習 VIII	石井 剛	2	S	火2	EAAセミナー室 (101-11号室)	学部合併
31D370-0281S	31D370-0281S	多文化共生・統合人間学演習 IX	森井 裕一	2	S	水3	8-110	
31D370-0290S	31D370-0290S	多文化共生・統合人間学演習 X	鈴木 啓之	2	S	火2	8-210	学部合併
31D370-0291A	31D370-0291A	多文化共生・統合人間学演習 X	鈴木 啓之	2	A			
31D370-0300S	31D370-0300S	多文化共生・統合人間学演習 XI	板津 木綿子	2	S	木2	福武ラーニングスタジオ3	学際情報学府合併
31D370-0400S	31D370-0400S	多文化共生・統合人間学実験実習 I	梶谷 真司	2	S	集中		
31D370-0401A	31D370-0401A	多文化共生・統合人間学実験実習 I	梶谷 真司	2	A	集中		
31D370-0500S		多文化共生・統合人間学特別研究 I	各教員	1	S			修士1年・必修
31D370-0500A		多文化共生・統合人間学特別研究 I	各教員	1	A			修士1年・必修
31D370-0510S		多文化共生・統合人間学特別研究 II	各教員	1	S			修士2年・必修
31D370-0510A		多文化共生・統合人間学特別研究 II	各教員	1	A			修士2年・必修
	31D370-0520S	多文化共生・統合人間学特別研究 III	各教員	1	S			博士1年・必修
	31D370-0520A	多文化共生・統合人間学特別研究 III	各教員	1	A			博士1年・必修
	31D370-0530S	多文化共生・統合人間学特別研究 IV	各教員	1	S			博士2年・必修
	31D370-0530A	多文化共生・統合人間学特別研究 IV	各教員	1	A			博士2年・必修
	31D370-0540S	多文化共生・統合人間学特別研究 V	各教員	1	S			博士3年・必修
	31D370-0540A	多文化共生・統合人間学特別研究 V	各教員	1	A			博士3年・必修

- 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
- 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
- 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

Graduate Program on Global Society

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M350-0011A	31D350-0011A	International Interdependence	鈴木 早苗	2	A	金2		Core Course
31M350-0023S	31D350-0023S	Social and Cultural Diversity	ROLAND, Douglas	2	S	水3	8-317	Core Course
31M350-0032A	31D350-0032A	Transnational Markets and Civil Society	KARTIKA, Diana	2	A	月2		Core Course
31M350-0042S	31D350-0042S	Normative Basis of Global Society	O'DEA, John	2	S	火3	21KOMCEE West K401	Core Course
31M350-0053S	31D350-0053S	Research Workshop I	Academic Advisor(s)	2	S	火5	8-322	Only for Program Students
31M350-0053A	31D350-0053A	Research Workshop I	Academic Advisor(s)	2	A	火5		Only for Program Students
31M350-0063S	31D350-0063S	Research Workshop II	Academic Advisor(s)	2	S	火5	8-322	Only for Program Students
31M350-0063A	31D350-0063A	Research Workshop II	Academic Advisor(s)	2	A	火5		Only for Program Students
31M350-0073S	31D350-0073S	Research Workshop III	Academic Advisor(s)	2	S	火5	8-322	Only for Program Students
31M350-0073A	31D350-0073A	Research Workshop III	Academic Advisor(s)	2	A	火5		Only for Program Students
31M350-0092S	31D350-0092S	Theory of International Interdependence II	高橋 史子	2	S	火2	18-メディアラボ2	教育学合併
31M350-0101A	31D350-0101A	Theory of International Interdependence III	東 大作	2	A2	木4・木5		学部合併
31M350-0112S	31D350-0112S	Theory of International Interdependence IV	鈴木 早苗	2	S	金3	21KOMCEE East K212	学部合併
31M350-0121A	31D350-0121A	History of International Interdependence I	佐橋 亮	2	A	月3		法学政治学・公共政策・学際情報学府合併
31M350-0160A	31D350-0160A	Theory of Social and Cultural Diversity I	O'DEA, John	2	A			
31M350-0182A	31D350-0182A	Theory of Social and Cultural Diversity III	高橋 史子	2	A			学部合併
31M350-0190A	31D350-0190A	Theory of Social and Cultural Diversity IV	川坂 和義	2	A			
31M350-0203S	31D350-0203S	Comparative Studies of Social and Cultural Diversity I	O'DEA, John	2	S	水3	8-321	
31M350-0210S	31D350-0210S	Comparative Studies of Social and Cultural Diversity II	川坂 和義	2	S	木4	8-320	
31M350-0231A	31D350-0231A	Comparative Studies of Social and Cultural Diversity IV	久野 愛	2	A	火2		学際情報学府合併
31M350-0241S	31D350-0241S	Theory of Transnational Markets and Civil Society I	宮崎 成人	2	S	水4	21KOMCEE East K213	学部合併
31M350-0250A	31D350-0250A	Theory of Transnational Markets and Civil Society II	KARTIKA, Diana	2	A	月4		
31M350-0262S	31D350-0262S	Theory of Transnational Markets and Civil Society III	NETTELEBECK, Amanda	2	S	水2	1-118	
31M350-0272A	31D350-0272A	Theory of Transnational Markets and Civil Society IV	未定	2	A	水2		
31M350-0285S	31D350-0285S	History of Transnational Markets and Civil Society I	矢口 祐人	2	S	水3	8-322	学際情報学府合併
31M350-0291A	31D350-0291A	History of Transnational Markets and Civil Society II	矢口 祐人	2	A	水3		学際情報学府合併
31M350-0301S	31D350-0301S	History of Transnational Markets and Civil Society III	山本 浩司	2	S	月4	国際学術総合研究棟314演習室	経済学合併
31M350-0310S	31D350-0310S	History of Transnational Markets and Civil Society IV	鈴木 晃仁	2	S	金4	法文1号館117教室	人文社会系合併
31M350-0321S	31D350-0321S	Theory of Normativity in Global Society I	トンプソン 美恵子	2	S	水2	21KOMCEE East K213	学部合併
31M350-0330A	31D350-0330A	Theory of Normativity in Global Society II	鈴木 晃仁	2	A	金4		人文社会系合併
31M350-0342A	31D350-0342A	Theory of Normativity in Global Society III	GIRAUDOU, Isabelle	2	A			学部合併
31M350-0352A	31D350-0352A	Theory of Normativity in Global Society IV	キハラハント 愛	2	A	木2		
31M350-0361S	31D350-0361S	Comparative Studies of the Normative Basis of Civil Society I	鈴木 晃仁	2	S	火4	法文1号館217教室	学部・人文社会系合併
31M350-0370A	31D350-0370A	Comparative Studies of the Normative Basis of Civil Society II	鈴木 晃仁	2	A	火4		学部・人文社会系合併
31M350-0381A	31D350-0381A	Comparative Studies of the Normative Basis of Civil Society III	北村 友人	2	A1	月3・月4		教育学・新領域創成科学合併
31M350-0401S	31D350-0401S	Special Lecture on Global Society I	福本 江利子	2	S	水4	21KOMCEE East K214	学部合併
31M350-0411A	31D350-0411A	Special Lecture on Global Society II	板津 木綿子	2	A	木2		学際情報学府合併

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

Graduate Program on Global Society

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M350-0421S	31D350-0421S	Special Lecture on Global Society III	GIRAUDOU, Isabelle	2	S	木5	1-118	学部合併
31M350-0430A	31D350-0430A	Special Lecture on Global Society IV	牛嶋 仁	2	A			学部合併
31M350-0443A	31D350-0443A	Seminar on Global Society I	CAPEL, Mathieu	2	A			
31M350-0462S	31D350-0462S	Seminar on Global Society III	板津 木綿子	2	S	木2	福武ラーニングスタジオ3	学際情報学府合併
31M350-0471S	31D350-0471S	Seminar on Global Society IV	張 旭東	2	S1	集中		学部合併
31M350-0481A	31D350-0481A	Seminar on Global Society V	BUTTERWICK-PAWLICKOWSKI, Richard	2	A	集中		学部合併
31M350-0490A	31D350-0490A	Experimental Studies on Global Society I	Academic Advisor(s)	2	A	集中		Only for Program Students
31M350-0491S	31D350-0491S	Experimental Studies on Global Society I	Academic Advisor(s)	2	S	集中		Only for Program Students
31M350-0500A	31D350-0500A	Experimental Studies on Global Society II	Academic Advisor(s)	2	A	集中		Only for Program Students
31M350-0501S	31D350-0501S	Experimental Studies on Global Society II	Academic Advisor(s)	2	S	集中		Only for Program Students

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

Graduate Program on Environmental Sciences

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M360-0010S	31D360-0010S	Foundations of Environmental Sciences I	岡本 拓司・石原 孝二・三村 太郎	2	S	水5	21KOMCEE West K402	学部合併
31M360-0030S	31D360-0030S	Foundations of Environmental Sciences III	福本 江利子	2	S	水4	21KOMCEE East K214	学部合併
31M360-0080S	31D360-0080S	Environmental Management and Policy I	前田 章	2	S	木2	8-112	学部合併
31M360-0090A	31D360-0090A	Environmental Management and Policy II	成田 大樹	2	A			学部合併
31M360-0091S	31D360-0091S	Environmental Management and Policy II	成田 大樹	2	S	木1	21KOMCEE East K113	学部合併
31M360-0092A	31D360-0092A	Environmental Management and Policy II	GIRAUDOU, Isabelle	2	A			学部合併
31M360-0100A	31D360-0100A	Environmental Management and Policy III	西村 欣也 高田 壮則	2	A	集中		学部合併
31M360-0110S	31D360-0110S	Environmental Management and Policy IV	GIRAUDOU, Isabelle	2	S	木5	1-118	学部合併
31M360-0113A	31D360-0113A	Environmental Management and Policy IV	牛嶋 仁	2	A			学部合併
31M360-0160S	31D360-0160S	Environmental Measurement and Evaluation II	Delaunay, Jean-Jacques	2	S1	火2・金2	工学部旧2号館 工233号講義室	学部合併
31M360-0200A	31D360-0200A	Environmental Measurement and Evaluation VI	前田 章	2	A			学部合併
31M360-0250S	31D360-0250S	Materials, Systems and Dynamics I	真船 文隆	2	S	水1	8-206	
31M360-0260S	31D360-0260S	Materials, Systems and Dynamics II	沖 大幹 山崎 大	2	S1	火5・金5	工1号館 工16号講義室	学部・工学系合併
31M360-0280A	31D360-0280A	Materials, Systems and Dynamics IV	平岡 秀一 角野 浩史	2	A			
31M360-0350A	31D360-0350A	Energy Technology and Natural Resources II	福本 亮	2	A1			学部合併
31M360-0360A	31D360-0360A	Energy Technology and Natural Resources III	増田 建	2	A			学部合併
31M360-0370S	31D360-0370S	Energy Technology and Natural Resources IV	杉山 昌広	2	S	月2	21KOMCEE East K114	学部合併
31M360-0430S	31D360-0430S	Health and Security II	晝間 敬	2	S	集中		
31M360-0440A	31D360-0440A	Health and Security III	福井 尚志 竹下 大介	2	A			
31M360-0460A	31D360-0460A	Health and Security V	大口 敬	2	A2	火4・金4		工学系・学際情報学府合併
31M360-0510S		Special Masters Seminar I	Each Academic Adviser	2	S			Strongly recommended for Master's Course
31M360-0510A		Special Masters Seminar I	Each Academic Adviser	2	A			Strongly recommended for Master's Course
31M360-0520S		Special Masters Seminar II	Each Academic Adviser	2	S			Strongly recommended for Master's Course
31M360-0530S		Special Masters Seminar III	Each Academic Adviser	2	S			Strongly recommended for Master's Course
31M360-0530A		Special Masters Seminar III	Each Academic Adviser	2	A			Strongly recommended for Master's Course
31M360-0540S		Special Masters Seminar IV	Each Academic Adviser	2	S			Strongly recommended for Master's Course
31M360-0540A		Special Masters Seminar IV	Each Academic Adviser	2	A			Strongly recommended for Master's Course
31M360-0550S		Special Masters Research Work I	Each Academic Adviser	2	S			Compulsory for Master's Course
31M360-0550A		Special Masters Research Work I	Each Academic Adviser	2	A			Compulsory for Master's Course
31M360-0560S		Special Masters Research Work II	Each Academic Adviser	2	S			Compulsory for Master's Course
31M360-0560A		Special Masters Research Work II	Each Academic Adviser	2	A			Compulsory for Master's Course
31M360-0570S		Special Masters Research Work III	Each Academic Adviser	2	S			Compulsory for Master's Course
31M360-0570A		Special Masters Research Work III	Each Academic Adviser	2	A			Compulsory for Master's Course
31M360-0580S		Special Masters Research Work IV	Each Academic Adviser	2	S			Compulsory for Master's Course
31M360-0580A		Special Masters Research Work IV	Each Academic Adviser	2	A			Compulsory for Master's Course
	31D360-0590S	Special Doctoral Seminar I	Each Academic Adviser	1	S			Strongly recommended for Doctoral Course
	31D360-0590A	Special Doctoral Seminar I	Each Academic Adviser	1	A			Strongly recommended for Doctoral Course
	31D360-0600S	Special Doctoral Seminar II	Each Academic Adviser	1	S			Strongly recommended for Doctoral Course

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

Graduate Program on Environmental Sciences

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
		31D360-0600A	Special Doctoral Seminar II	Each Academic Adviser	1	A		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0610S	Special Doctoral Seminar III	Each Academic Adviser	1	S		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0610A	Special Doctoral Seminar III	Each Academic Adviser	1	A		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0620S	Special Doctoral Seminar IV	Each Academic Adviser	1	S		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0620A	Special Doctoral Seminar IV	Each Academic Adviser	1	A		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0630S	Special Doctoral Seminar V	Each Academic Adviser	1	S		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0630A	Special Doctoral Seminar V	Each Academic Adviser	1	A		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0640S	Special Doctoral Seminar VI	Each Academic Adviser	1	S		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0640A	Special Doctoral Seminar VI	Each Academic Adviser	1	A		Strongly recommended for Doctoral Course
		31D360-0650S	Special Doctoral Research Work I	Each Academic Adviser	2	S		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0650A	Special Doctoral Research Work I	Each Academic Adviser	2	A		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0660S	Special Doctoral Research Work II	Each Academic Adviser	2	S		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0660A	Special Doctoral Research Work II	Each Academic Adviser	2	A		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0670S	Special Doctoral Research Work III	Each Academic Adviser	2	S		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0670A	Special Doctoral Research Work III	Each Academic Adviser	2	A		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0680S	Special Doctoral Research Work IV	Each Academic Adviser	2	S		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0680A	Special Doctoral Research Work IV	Each Academic Adviser	2	A		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0690S	Special Doctoral Research Work V	Each Academic Adviser	2	S		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0690A	Special Doctoral Research Work V	Each Academic Adviser	2	A		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0700S	Special Doctoral Research Work VI	Each Academic Adviser	2	S		Compulsory for Doctoral Course
		31D360-0700A	Special Doctoral Research Work VI	Each Academic Adviser	2	A		Compulsory for Doctoral Course

Notes:

Only one of the Special Seminars and one of the Special Research Work courses can be taken in each semester, according to the following sequence:

Masters: I, II → III, IV

Doctoral: I, II → III, IV → V, VI

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M390-0010S	31D390-0010S	Supervised Readings I	武田 将明	2	S			
31M390-0011S	31D390-0011S	Supervised Readings I	田中 伸一	2	S			
31M390-0020S	31D390-0020S	Supervised Readings II	星野 太	2	S			
31M390-0021S	31D390-0021S	Supervised Readings II	閑谷 雄一	2	S			
31M390-0022S	31D390-0022S	Supervised Readings II	國分 功一郎	2	S			
31M390-0030S	31D390-0030S	Supervised Readings III	小川 浩之 伊藤 武	2	S			
31M390-0040S	31D390-0040S	Supervised Readings IV	遠藤 貢 キハラハント 愛	2	S			
31M390-0110S	31D390-0110S	研究技法トレーニング I	森元 庸介	2	S	火5	8-323	
31M390-0113A	31D390-0113A	研究技法トレーニング I	寺田 寅彦	2	A			
31M390-0114S	31D390-0114S	研究技法トレーニング I	谷本 道昭	2	S	木2	8-320	
31M390-0115A	31D390-0115A	研究技法トレーニング I	武田 将明	2	A			
31M390-0121S	31D390-0121S	研究技法トレーニング II	小田 博宗	2	S	水3	8-209	
31M390-0122A	31D390-0122A	研究技法トレーニング II	田中 伸一	2	A			
31M390-0123A	31D390-0123A	研究技法トレーニング II	倉田 博史	2	A			
31M390-0130A	31D390-0130A	研究技法トレーニング III	大塚 修	2	A	月2	14-605	
31M390-0132A	31D390-0132A	研究技法トレーニング III	カペル, マチュー	2	A			
31M390-0140A	31D390-0140A	研究技法トレーニング IV	清水 剛	2	A			
31M390-0141A	31D390-0141A	研究技法トレーニング IV	佐藤 俊樹	2	A			
31M390-0142S	31D390-0142S	研究技法トレーニング IV	内山 融	2	S	火4	8-110	
31M390-0151S	31D390-0151S	研究技法トレーニング V	橋本 摂子	2	S	火2	5-517	
31M390-0152A	31D390-0152A	研究技法トレーニング V	橋本 摂子	2	A			
31M390-0210S	31D390-0210S	グローバル・スタディーズ俯瞰論 I	三ツ井 崇	2	S	火5	8-320	
31M390-0211S	31D390-0211S	グローバル・スタディーズ俯瞰論 I	渡邊 淳也	2	S	火5	8-324	
31M390-0212S	31D390-0212S	グローバル・スタディーズ俯瞰論 I	広瀬 友紀	2	S	金5	8-315	
31M390-0213A	31D390-0213A	グローバル・スタディーズ俯瞰論 I	広瀬 友紀	2	A			
31M390-0220S	31D390-0220S	グローバル・スタディーズ俯瞰論 II	清水 晶子	2	S	水5	18-メディアラボ2	
31M390-0230A	31D390-0230A	グローバル・スタディーズ俯瞰論 III	上 英明	2	A	火3		
31M390-0240S	31D390-0240S	グローバル・スタディーズ俯瞰論 IV	湯川 拓	2	S	月2	8-322	
31M390-0310S	31D390-0310S	グローバル・スタディーズ解析論 I	岩月 純一	2	S	水3	12-1233	
31M390-0311A	31D390-0311A	グローバル・スタディーズ解析論 I	岩月 純一	2	A			
31M390-0312A	31D390-0312A	グローバル・スタディーズ解析論 I	渡邊 淳也	2	A			
31M390-0320S	31D390-0320S	グローバル・スタディーズ解析論 II	國分 功一郎	2	S	金4	21KOMCEE East K114	
31M390-0321A	31D390-0321A	グローバル・スタディーズ解析論 II	國分 功一郎	2	A			
31M390-0330S	31D390-0330S	グローバル・スタディーズ解析論 III	原 和之	2	S	水5	8-208	
31M390-0331A	31D390-0331A	グローバル・スタディーズ解析論 III	土屋 和代	2	A			
31M390-0340A	31D390-0340A	グローバル・スタディーズ解析論 IV	阪本 拓人	2	A			
31M390-0410S	31D390-0410S	グローバル・スタディーズ実験実習	オオツキ, グラント ジュン	2	S			
31M390-0410A	31D390-0410A	グローバル・スタディーズ実験実習	オオツキ, グラント ジュン	2	A			
31M390-0510S	31D390-0510S	グローバル・スタディーズ教育演習	中尾 沙季子	2	S			
31M390-0510A	31D390-0510A	グローバル・スタディーズ教育演習	中尾 沙季子	2	A			

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M390-0610S	31D390-0610S	グローバル・スタディーズ国際共同研究実習	受田 宏之	2	S			
31M390-0610A	31D390-0610A	グローバル・スタディーズ国際共同研究実習	受田 宏之	2	A			
31M390-1000S	31D390-1000S	研究技法トレーニング I-A	渡邊 日日	1	S2	月3	8-205	
31M390-1001A	31D390-1001A	研究技法トレーニング I-A	名和 克郎	1	A2			
31M390-1010A	31D390-1010A	研究技法トレーニング I-B	塚原 伸治	1	A1			
31M390-1100S	31D390-1100S	研究技法トレーニング II-A	関谷 雄一	1	S1	木2	8-209	
31M390-1101S	31D390-1101S	研究技法トレーニング II-A	宮地 隆廣	1	S2	金2	12-1231	
31M390-1110S	31D390-1110S	研究技法トレーニング II-B	オオツキ, グラント ジュン	1	S1	月2	8-317	
31M390-1111S	31D390-1111S	研究技法トレーニング II-B	浜田 明範	1	S2	火3	8-321	
31M390-1200S	31D390-1200S	研究技法トレーニング V-A	津田 浩司	1	S2	月2	8-317	
31M390-1201S	31D390-1201S	研究技法トレーニング V-A	中村 沙絵	1	S1	火2	8-317	
31M390-1210A	31D390-1210A	研究技法トレーニング V-B	藏本 龍介	1	A1			
31M390-1211A	31D390-1211A	研究技法トレーニング V-B	箭内 匡	1	A1			

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 「Supervised Readings I ~IV」のうちどれか1科目を入学年度のSセメスターに必ず履修すること。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

先進基礎科学推進国際卓越大学院

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M400-0010S	31D400-0010S	アカデミック・ライティング I	森畠 明昌	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0020A	31D400-0020A	アカデミック・ライティング II	森畠 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0030S	31D400-0030S	アカデミック・ライティング III	森畠 明昌	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0040A	31D400-0040A	アカデミック・ライティング IV	森畠 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0050S	31D400-0050S	アカデミック・ライティング V	森畠 明昌	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0060A	31D400-0060A	アカデミック・ライティング VI	森畠 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0070S	31D400-0070S	アカデミック・ライティング VII	森畠 明昌	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0080A	31D400-0080A	アカデミック・ライティング VIII	森畠 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0090S	31D400-0090S	アカデミック・ライティング IX	森畠 明昌	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0100A	31D400-0100A	アカデミック・ライティング X	森畠 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0110S		先進基礎科学セミナー I	吉本 敬太郎	2	S	集中		修士のみ プログラム生のみ
31M400-0120A		先進基礎科学セミナー II	吉本 敬太郎	2	A	集中		修士のみ プログラム生のみ
31M400-0130S		先進基礎科学セミナー III	吉本 敬太郎	2	S	集中		修士のみ プログラム生のみ
31M400-0140A		先進基礎科学セミナー IV	吉本 敬太郎	2	A	集中		修士のみ プログラム生のみ
	31D400-0150S	先進基礎科学セミナー V	吉本 敬太郎	2	S	集中		博士のみ プログラム生のみ
	31D400-0160A	先進基礎科学セミナー VI	吉本 敬太郎	2	A	集中		博士のみ プログラム生のみ
	31D400-0170S	先進基礎科学セミナー VII	吉本 敬太郎	2	S	集中		博士のみ プログラム生のみ
	31D400-0180A	先進基礎科学セミナー VIII	吉本 敬太郎	2	A	集中		博士のみ プログラム生のみ
	31D400-0190S	先進基礎科学セミナー IX	吉本 敬太郎	2	S	集中		博士のみ プログラム生のみ
	31D400-0200A	先進基礎科学セミナー X	吉本 敬太郎	2	A	集中		博士のみ プログラム生のみ
31M400-0210S	31D400-0210S	先進基礎科学演習 I	豊田 太郎	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0220A	31D400-0220A	先進基礎科学演習 II	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0230S	31D400-0230S	先進基礎科学演習 III	豊田 太郎	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0240A	31D400-0240A	先進基礎科学演習 IV	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0250S	31D400-0250S	先進基礎科学演習 V	豊田 太郎	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0260A	31D400-0260A	先進基礎科学演習 VI	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0270S	31D400-0270S	先進基礎科学演習 VII	豊田 太郎	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0280A	31D400-0280A	先進基礎科学演習 VIII	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0290S	31D400-0290S	先進基礎科学演習 IX	豊田 太郎	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0300A	31D400-0300A	先進基礎科学演習 X	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0310S	31D400-0310S	先進基礎科学ゼミナール I	加藤 雄介	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0320A	31D400-0320A	先進基礎科学ゼミナール II	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0330S	31D400-0330S	先進基礎科学ゼミナール III	加藤 雄介	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0340A	31D400-0340A	先進基礎科学ゼミナール IV	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0350S	31D400-0350S	先進基礎科学ゼミナール V	加藤 雄介	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0360A	31D400-0360A	先進基礎科学ゼミナール VI	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0370S	31D400-0370S	先進基礎科学ゼミナール VII	加藤 雄介	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0380A	31D400-0380A	先進基礎科学ゼミナール VIII	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0390S	31D400-0390S	先進基礎科学ゼミナール IX	加藤 雄介	2	S	集中		プログラム生のみ
31M400-0400A	31D400-0400A	先進基礎科学ゼミナール X	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0410S	31D400-0410S	先進基礎実験科学 I	奥野 将成 小林 広和	2	S	木2	16-827	
31M400-0430S	31D400-0430S	先進基礎計測科学 I	青木 優 羽馬 哲也	2	S	月2	16-827	

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

先進基礎科学推進国際卓越大学院

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M400-0470S	31D400-0470S	先進基礎数理科学 I	石原 秀至	2	S	月3	16-827	
31M400-0490S	31D400-0490S	先進基礎データ科学 I	今泉 允聰	2	S	木5	16-119/129	
31M400-0510A	31D400-0510A	発見的方法論 I	福島 孝治	2	A			
31M400-0530S	31D400-0530S	基礎科学修学 I	松田 恭幸	2	S			プログラム生のみ
31M400-0540A	31D400-0540A	基礎科学修学 II	松田 恭幸	2	A			プログラム生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○ー○○○は、(号館)ー(部屋番号)を表す。
4. 本プログラムの修了までに、共通科目「アカデミック・ライティング」「先進基礎科学セミナー」「先進基礎科学演習」「先進基礎科学ゼミナール」をいずれも2単位以上を修得し、それらを含む14単位以上を修得すること。
また、履修にあたって以下の点に注意すること。
 - (1) 14単位のうち6単位以上を修士課程修了時までに修得する。
 - (2) 共通科目は、いずれも順に履修する必要はなく、また連続して履修する必要もない。
 - (3) いずれの共通科目も各セメスターで履修できる科目はそれぞれ1つまでとする。

科学技術インタープリター養成プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M300-0011A	31M300-0011A	科学技術インターパリター論 I	川越 至桜 他	2	A			必修 プログラム生のみ
31M300-0021S	31M300-0021S	科学技術インターパリター論 II	松田 恭幸 他	2	S	火5	8-110	必修 プログラム生のみ
31M300-0041A	31M300-0041A	科学技術コミュニケーション基礎論 I	石原 孝二 他	2	A			必修 プログラム生のみ
31M300-0071S	31M300-0071S	現代科学技術概論 I	青野 由利	2	S	集中		プログラム生のみ 学部合併
31M300-0091S	31M300-0091S	現代科学技術概論 III	江間 有沙 他	2	S	火2	国際学術総合 研究棟4階講 義室B	プログラム生のみ 情報理工・学際情報学府・公共 政策合併
31M300-0111S	31M300-0111S	科学技術リテラシー論 II	小松 美彦	2	S	金4	12-1226	プログラム生のみ 学部合併
31M300-0131A	31M300-0131A	科学技術表現論 I	大島 まり 他	2	A			プログラム生のみ 学部・学際情報学府合併
31M300-0141S	31M300-0141S	科学技術表現論 II	内田 麻理香	2	S	木4	12-1226	プログラム生のみ 学部合併
31M300-0201A	31M300-0201A	科学技術インターパリター特論 II	内田 麻理香	2	A			プログラム生のみ 学部合併
31M300-0211A	31M300-0211A	科学技術インターパリター特論 III	定松 淳	2	A			プログラム生のみ 学部合併
31M300-0221S	31M300-0221S	科学技術コミュニケーション演習 I	岡本 拓司	2	S	火2	14-308	プログラム生のみ
31M300-0231S	31M300-0231S	科学技術コミュニケーション演習 II	石原 孝二	2	S	月2	14-708	プログラム生のみ
31M300-0341A	31M300-0341A	科学技術表現実験実習 I	川越 至桜	2	A			プログラム生のみ 学部・学際情報学府合併
31M300-1011S	31M300-1011S	科学技術インターパリター研究指導 I	定松 淳 内田 麻理香	2	S	月5	8-110	必修 プログラム生のみ
31M300-1021A	31M300-1021A	科学技術インターパリター研究指導 II	定松 淳 内田 麻理香	2	A			必修 プログラム生のみ
31M300-2011S	31M300-2011S	科学技術インターパリター特別研究 I	各教員	2	S			必修 プログラム生のみ
31M300-2021A	31M300-2021A	科学技術インターパリター特別研究 II	各教員	2	A			必修 プログラム生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○ー○○○は、(号館)ー(部屋番号)を表す。
4. **科学技術インターパリター養成プログラム受講生以外は履修を認められません。**

日独共同大学院プログラム

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2025年度時間割(大学院総合文化研究科)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
	31D320-6000S	日独研究論 I	梶谷 真司・川喜田 敦子・平松 英人	2	S	火4	8-418	プログラム学生のみ
	31D320-6010A	日独研究論 II	梶谷 真司・川喜田 敦子・平松 英人	2	A	火4		プログラム学生のみ
	31D320-6020A	日独研究特別研究 I	平松 英人	2	A			プログラム学生のみ
	31D320-6021S	日独研究特別研究 I	平松 英人	2	S	金4	8-206	プログラム学生のみ 学部合併
	31D320-6021A	日独研究特別研究 I	平松 英人	2	A			プログラム学生のみ 学部合併
	31D320-6030S	日独研究特別研究 II	川喜田 敦子 平松 英人	2	S			プログラム学生のみ
	31D320-6030A	日独研究特別研究 II	川喜田 敦子 平松 英人	2	A			プログラム学生のみ
	31D320-6040S	日独研究演習 I	川喜田 敦子	2	S			プログラム学生のみ
	31D320-6040A	日独研究演習 I	川喜田 敦子	2	A			プログラム学生のみ
	31D320-6050S	日独研究演習 II	川喜田 敦子	2	S			プログラム学生のみ
	31D320-6050A	日独研究演習 II	川喜田 敦子	2	A			プログラム学生のみ
	31D320-6060S	日独研究実験実習	川喜田 敦子	2	S			プログラム学生のみ
	31D320-6060A	日独研究実験実習	川喜田 敦子	2	A			プログラム学生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. **日独共同大学院プログラム受講生以外は履修を認められません。**

英語教育プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
	31D380-0010S	英語教授法特別講義	遠藤 智子	2	S	金2	12-1233	
	31D380-0020A	第二言語習得論特別講義	平山 真奈美	2	A			
	31D380-0061S	TA演習 I	佐々木 悠介	1	S	集中		
	31D380-0071A	TA演習 II	未定	1	A			
	31D380-0080A	英語理解学習論演習	アルヴィ宮本なほ子	2	A			
	31D380-0090A	英語表現学習論演習	カルティカ, ダイアナ	2	A			
	31D380-0100S	英語協同学習論演習	高橋 英海	2	S	火5	8-321	

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. **英語教育プログラム受講生以外は履修を認められません。**

駒場地区建物配置図

